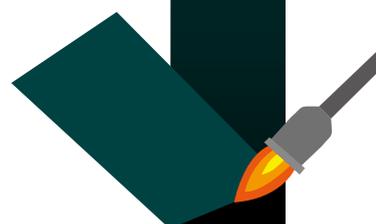




ポリマリット POLYMERIT

改質アスファルトシート防水
— トーチ工法 —



vol.3

ポリマリット POLYMERIT

改質アスファルトシート防水 トーチ工法

ポリマリットが**選ばれる理由**

改質アスファルトシート防水トーチ工法「ポリマリット」は、1978年の発売以来、アスファルト防水熱工法に代わるアスファルト系防水として多数の実績を積み重ねて参りました。

アスファルトの特性「熱すれば溶け、冷やせば固まる」を活かしたトーチ工法は、改質アスファルトシート裏面にコーティングされたアスファルトをトーチバーナーで炙りながら貼り付けると同時に防水の急所となる部位の水密性を高めることが可能な工法です。

田島ルーフィングのトーチ工法「ポリマリット」は、独自の製造技術によって施工時の溶融性を高めることができました。そして、他工法と組合せた場合でも同じ意匠で仕上げることができるため、様々な現場で対応可能です。現場目線を常に忘れることなく、施工者の作業負担を少しでも軽減するために材料の改良にも取り組んでいます。

【フィルムとコンパウンドの溶けやすさを独自改良】

→高品質な施工を実現し、建物の長寿命化をサポート

【他工法との組合せが可能】

→ルーフィングの意匠統一により、工法選びに困らない

【ルーフィング表面ホワイト化&剥離フィルムの採用】

→作業負担と廃棄物を減らす

今後も田島ルーフィングは、環境・建物・施工者全てにやさしい防水工法を目指し、新たな技術で時代に求められるものを創造してまいります。



選ばれる理由 | 01

フィルムとコンパウンドの溶けやすさで
高品質な施工を実現

トーチ工法は、ルーフィングのフィルム部分をトーチバーナーで炙り、ルーフィング自体のアスファルトを溶融しながら貼り付ける工法です。当社独自の製造方法で開発された「ポリマリット」は、フィルムとコンパウンドの溶けやすさを実現。施工時期や現場の状況に左右されず、高品質な施工を維持することが可能です。

選ばれる理由 | 02

ルーフィングの意匠統一で、
ポリマリット×他工法でも美しい仕上がり

表面に碎石砂を使用した砂付ルーフィング「ポリマリットフェース」は、他工法（ガムクールキャップ、レイヤキャップ、ハイキャップ、強力砂付など）の砂付仕上げに使用する砂と同じです。そのため、他工法と組合せた場合でも自然な仕上がりで施工することができます。



選ばれる理由 | 03

表面ホワイト化&剥離フィルムの採用で 作業負担と廃棄物を低減

下貼り用ルーフィングの表面をホワイト化したことで、ルーフィングの熱吸収が抑えられ、特に夏季施工時における作業温度環境を大幅に改善。また、ラップ部分をフィルム化したことで、納まりが良くなり施工性が向上。粘着層側には剥離フィルムを採用し、剥離紙に比べ廃棄物の減少を実現しました。

CONTENTS

工法の種類	3	公共住宅建設工事	
仕様番号一覧	4	共通仕様	26
乾式アスパネ工法	5	日本建築学会仕様	27
砂付仕上げ 複層工法	7	UR都市機構保全工事	
砂付仕上げ 単層工法	10	共通仕様	29
砂付仕上げ・複層断熱工法	11	下地処理材・仮防水材	31
保護コンクリート仕上げ 複層断熱工法	13	断熱改修工法	33
保護コンクリート仕上げ 複層工法	15	技術資料	35
塗膜防水併用工法	17	納まり図例	37
軽歩行仕上げ	19	材料紹介	43
官公庁仕様	21	材料一覧	55
		使用上の注意と メンテナンス	57

工法の種類

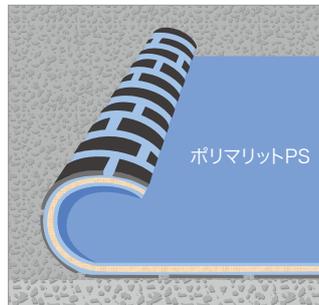
ポリマリット工法では、より確かな水密性を得るために2層貼りを主としています。(改修などでは1層もあり)
1層目に粘着層付ルーフィングを使用して2層目をトーチで施工する工法と、2層ともトーチで施工する工法があります。

常温粘着+トーチ

1層目に粘着層付のルーフィングを貼り付け、2層目のルーフィングをトーチで炙って施工します。

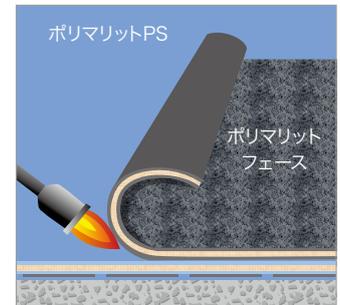
1層目の貼り付けには火器を使用しないため施工スピードがあがり、工期短縮へと繋がります。粘着層付ルーフィングには、裏面が全面接着するタイプ(ポリマリットGL)と、ストライプ状の通気タイプ(ポリマリットPS)の2種類があります。

2層目をトーチ施工する際の加熱により、1層目の固定力および水密性をより確実にする効果が得られます。



【1層目】

下貼り用のポリマリットPS、またはGLの剥離材を剥して下地に貼りつけます。



【2層目】

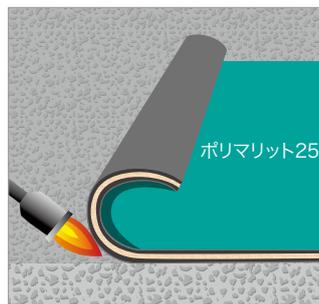
バーナーを用いて2層目のポリマリットフェース、またはポリマリット40・35を貼りつけます。

トーチ+トーチ

1層目、2層目ともにルーフィングをトーチで炙って施工します。裏面全面を炙りながら施工することで、熔融アスファルトが連続して発生するので1層目、2層目ともに全面接着となります。

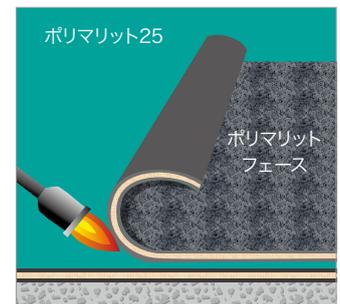
1層目にあなあきシートのPMスポット32を用いる場合、置き敷きしたPMスポット32の穴に2層目のルーフィングを炙って溶けだした熔融アスファルトが流れ込むことで表層ルーフィングが下地と部分接着状態となります。

※PMスポット32採用の場合、防水機能は1層となります



【1層目】

2層工法の場合は、下貼り用のポリマリット25を、全面トーチにより下地に貼りつけます。



【2層目】

バーナーを用いて2層目シートを貼りつけます。

【防水層重量目安と厚み、耐用年数表記について】

- 重量目安: 下地処理材・防水層・断熱材・仕上げ材を含みます。保護コンクリート、保護塗料は含みません。
- 厚み: 防水層・断熱材・仕上げ材を含みます。下地処理材・接着剤・保護コンクリートは含みません。
※ポリマリットで改修した場合の防水層仕上がり高さの確認を目的としており、ポリマリット防水層そのものの厚さではありません。
- 耐用年数: 一般的条件の下での施工により形成される防水層自身の寿命としての目安であり、保証値ではありません。日射反射型の保護塗料を塗布することで、防水層の耐用年数を延ばすことができます。(定期的に塗料の塗り替えを行い、その性能維持を前提とします。保護塗料の種類により耐用年数の加算が異なります。(49ページ参照)
- 断熱仕様の場合、防水層は断熱材上の温度変化の影響を強く受けるため耐用年数は短くなります。既存防水の断熱材も影響するため、既存の状況をご確認ください。

カタログの見方

仕様番号の見方

P 防水材	S 下地 (既存)	S 防水層 (最上層)	-	2S 層数	•	SF 仕上げ材
P ポリマリット	S 砂付 C コンクリート B バリボード (各種下地上に敷設)	S 露出防水 C 保護防水または 軽歩行仕上げ		1 1層 2 2層 200 2層/断熱 300 2層/断熱+防湿層 S は1層目ストライプ		[露出防水用保護塗料] TH SPサーモコート SF SPファインカラー SD SPミッドカラー SC SPクリーンカラー [保護防水] CP 絶縁クロス (保護コンクリート)
						[軽歩行用仕上げ材] BC バリキャップ ST ステップスクエア 500H GT ガムロンタイル EB エイブロック

アイコンの説明



複層工法
改質アスシートを2層積層して仕上げるアスファルト系ならではの工法。



単層工法
1層で仕上げる工法。既存がアスファルト防水で、かつ状態が良い場合に用いる。

絶縁

絶縁仕様
1層目がストライプ状粘着層で通気性を確保、下地挙動にも柔軟に対応しフクレを軽減。

密着

密着仕様
全面粘着層による高い接着力。下地状態がよい場合や、立上り・側溝部に適する。

仕様番号一覧

仕上げ	適用下地	仕様番号	工法	断熱有無	掲載ページ
露出防水 砂付仕上げ	※	PBS-2S	複層絶縁	—	5
		PBS-1S	単層絶縁	—	6
	コンクリート・モルタル	PCS-2S	複層絶縁	—	7
	アスファルト露出防水	PSS-2S	複層絶縁	—	8
		PSS-2	複層密着	—	9
		PSS-1	単層密着	—	10
	コンクリート・モルタル	PCS-300S	複層絶縁	断熱+防湿	11
		PCS-200S	複層絶縁	断熱	12
保護防水 保護コンクリート 仕上げ	コンクリート・モルタル	PCC-200・CP	複層密着	断熱	13
		PCC-200S・CP	複層絶縁	断熱	14
		PCC-2・CP	複層密着	—	15
		PCC-2S・CP	複層絶縁	—	16

※各種下地に適用可能です。詳細は営業員にお問い合わせください。

工法	仕様番号	防水材	掲載ページ
塗膜防水併用工法 (立上り/架台)	PQ-160C	アスクールC	17
	AQ-160	アクアベース	18

立上り部 仕様番号	仕様番号	構成
	PSV-1	増貼り+単層仕様
	PSV-2	複層仕様
	PSV-2C	保護仕上げ対応仕様
	PSV-2B	増貼り+複層仕様

乾式アスパネ工法 (乾式アスファルトパネル併用工法)

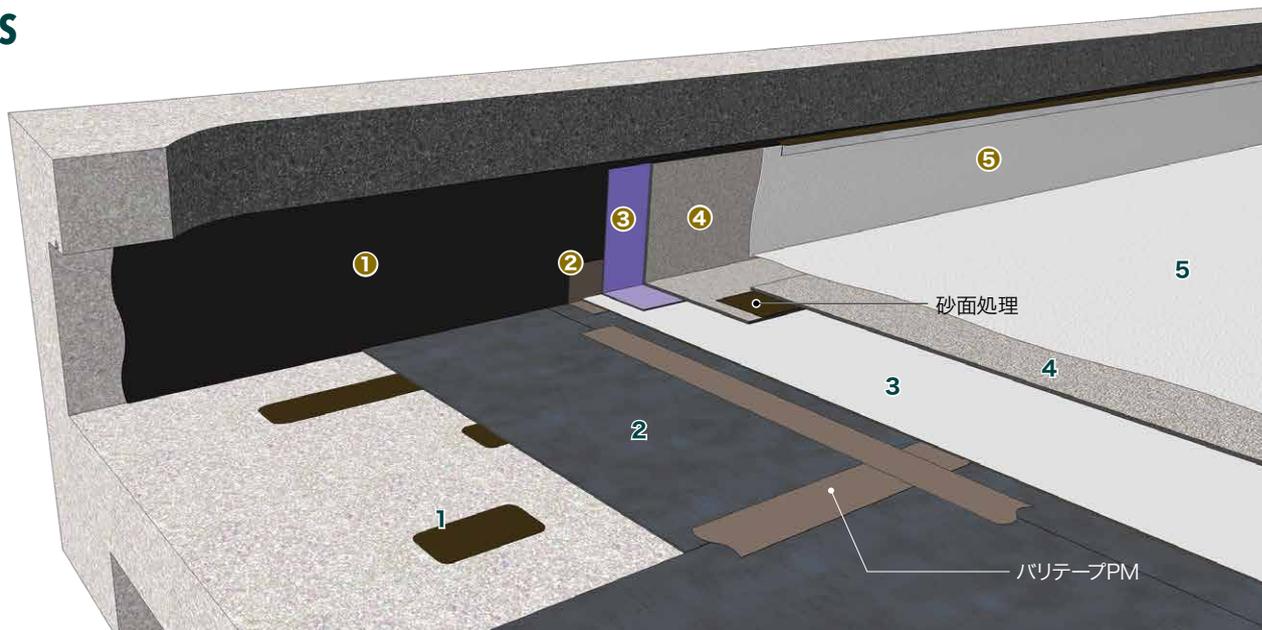
非断熱

絶縁

アスファルトパネル「バリボード」を用いた乾式工法。様々な下地にも対応でき、短期間で防水に適した平滑な下地作りが可能。



PBS-2S



PBS-2S シリーズ

適用下地: コンクリート、アスファルト露出防水、高分子系防水
防水層重量目安: 約15kg/m² (保護塗料含まず)

厚み: 約9.5mm

基本耐用年数: 既存断熱あり...17年*

: 既存断熱なし...22年*

※3保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材の有無による耐用年数の目安 (単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号 (末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	22年	20年	20年
	断熱なし	24年	23年	23年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部	(単位:/m ²)
1 レイコーセメント※1 (点貼り)	0.5kg
2 バリボードPS (目地部:バリテープPM)	
3 ポリマリット PS	
4 ポリマリットフェース※2	
5 保護塗料※3	

※工程2バリテープPMの代わりにバリテープCも使用可能です。

立上り部 PSV-2B	(単位:/m ²)
1 水性プライマーAS	0.2kg
2 バリテープ PM	
3 ポリマリットGL または ポリマリット25	
4 ポリマリットフェース※2	
5 保護塗料※3	

※1 接着剤の選定は31ページをご覧ください。

※2 ポリマリット40またはポリマリット35に変更可能です。

※4 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

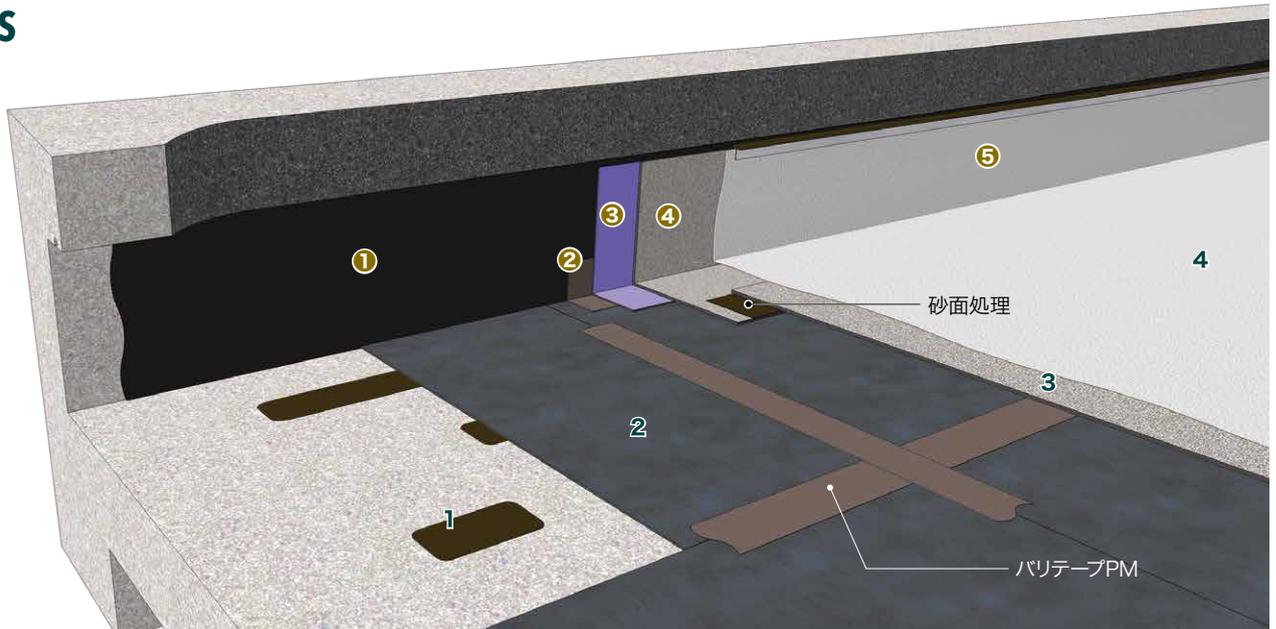
※5 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

非断熱

絶縁



PBS-1S



PBS-1S シリーズ

適用下地: コンクリート、アスファルト露出防水、高分子系防水
防水層重量目安: 約12.5kg/m²(保護塗料含まず)

厚み: 約8mm

基本耐用年数: 既存断熱あり・・・12年＊
: 既存断熱なし・・・17年＊

※3保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	17年	15年	15年
	断熱なし	19年	18年	18年

＊日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部	(単位:/m ²)
1	レイコーセメント※1(点貼り) 0.5kg
2	バリボードS(目地部:バリテープPM)
3	ポリマリットフェース※2
4	保護塗料※3

立上り部 PSV-2B	(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS 0.2kg
2	バリテープ PM
3	ポリマリットGL または ポリマリット25
4	ポリマリットフェース※2
5	保護塗料※3

※1 接着剤の選定は31ページをご覧ください。

※2 ポリマリット40に変更可能です。

※4 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※5 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

砂付仕上げ・複層工法

非断熱

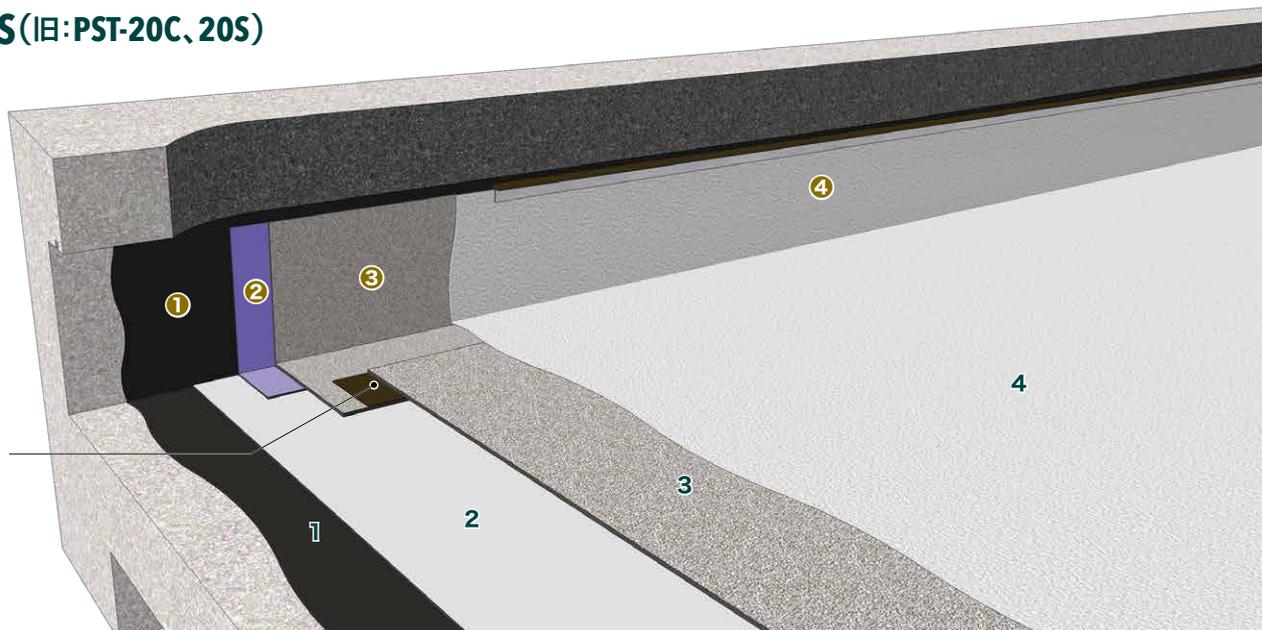
絶縁

常温粘着+トーチ



コンクリート下地やアスファルト露出防水下地など、下地状況に合わせたプライマーや下地活性化材を採用し施工する複層防水絶縁工法。

PCS-2S(旧:PST-20C、20S)



砂面処理

防水仕様

砂付仕上げ・複層工法

PCS-2S シリーズ

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約8.5kg/m²(保護塗料含まず)

厚み:約5.5mm

基本耐用年数:既存断熱あり…15年*

:既存断熱なし…20年*

※2保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※3	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※4
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	20年	18年	18年
	断熱なし	22年	21年	21年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリットPS	
3	ポリマリットフェース※1	
4	保護塗料※2	

立上り部 PSV-2		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリットGL または ポリマリット25	
3	ポリマリットフェース※1	
4	保護塗料※2	

※1 ポリマリット40またはポリマリット35に変更可能です。

※3 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※4 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

<7,8ページ共通注意事項>

・プライマーなどの下地処理材は、表面の乾燥を確認したのち、次工程に移行してください。季節・立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSS等を用いることもあります。

・脱気は屋根使用上の障害とならない限り、ステンレスペーパスを用います。(価格別途)

・ポリマリットPSは貼り付け後、ローラーなどを用いて十分に転圧します。冬季、または寒冷地の施工では、バーナーを併用することもあります。

・保護塗料は定期的に塗り替えることをおすすめします。塗料により塗り替えサイクルが異なるのでご相談ください。

・立上り部施工において平面部先行の場合の工程については40ページをご参照ください。

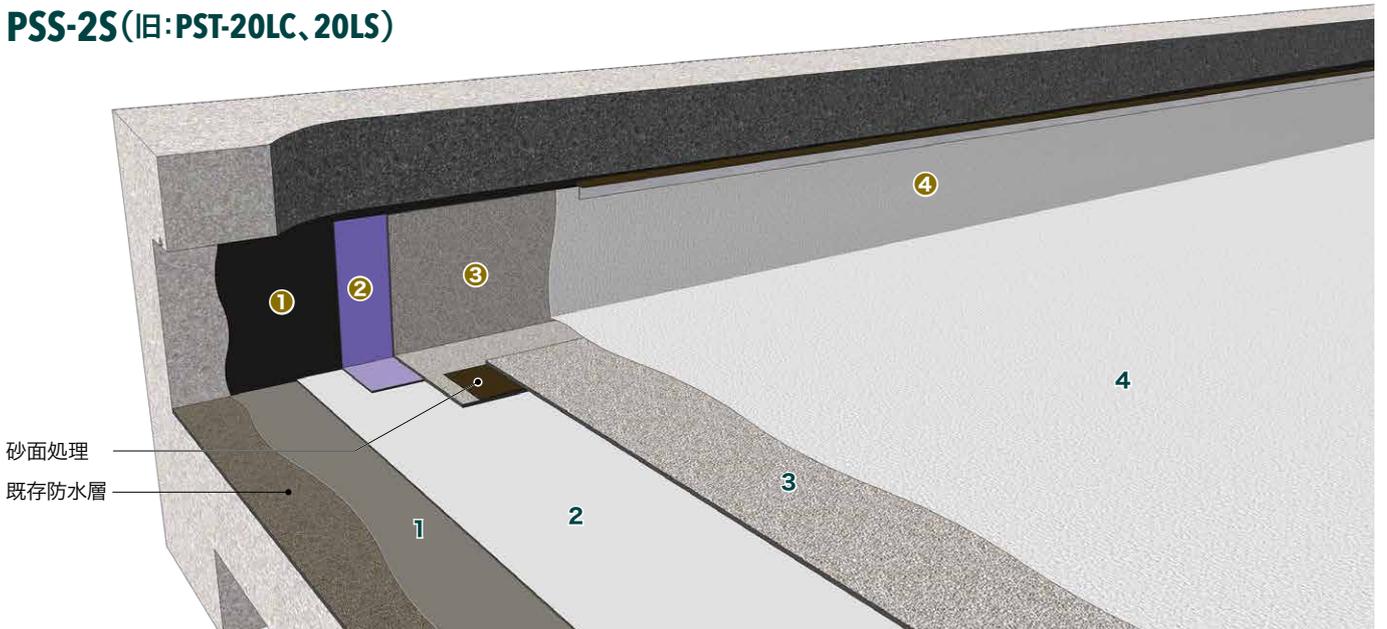
非断熱

絶縁

常温粘着+トーチ



PSS-2S (旧:PST-20LC、20LS)



防水仕様

砂付仕上げ・複層工法

PSS-2S シリーズ

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: 約9.5kg/m² (保護塗料含まず)

厚み: 約5.5mm

基本耐用年数: 既存断熱あり…15年*

: 既存断熱なし…20年*

※3保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安

(単位:/m²)

保護塗料		SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号 (末尾に追記)		・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	20年	18年	18年	18年
	断熱なし	22年	21年	21年	21年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部 (単位:/m²)

1	リベース※1
2	ポリマリットPS
3	ポリマリットフェース※2
4	保護塗料※3

立上り部 PSV-2 (単位:/m²)

1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリットGL または ポリマリット25	
3	ポリマリットフェース※2	
4	保護塗料※3	

※2 ポリマリット40またはポリマリット35に変更可能です。

※4 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※5 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

- ・改修工事の場合、既存下地の処理・乾燥は完全に行います。
- ・改修工事の場合、既存立上り部は原則として撤去します。
- ・劣化が激しく、既存防水層を全面撤去した場合、PCS-2Sをご参照ください。
- ・既存防水が、塩ビシート防水機械的固定工法の場合は、ご相談ください。
- ・リベースの代わりにクールベースも使用できます。(32ページ参照)

※1リベース塗布量(目安)

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

砂付仕上げ・複層工法

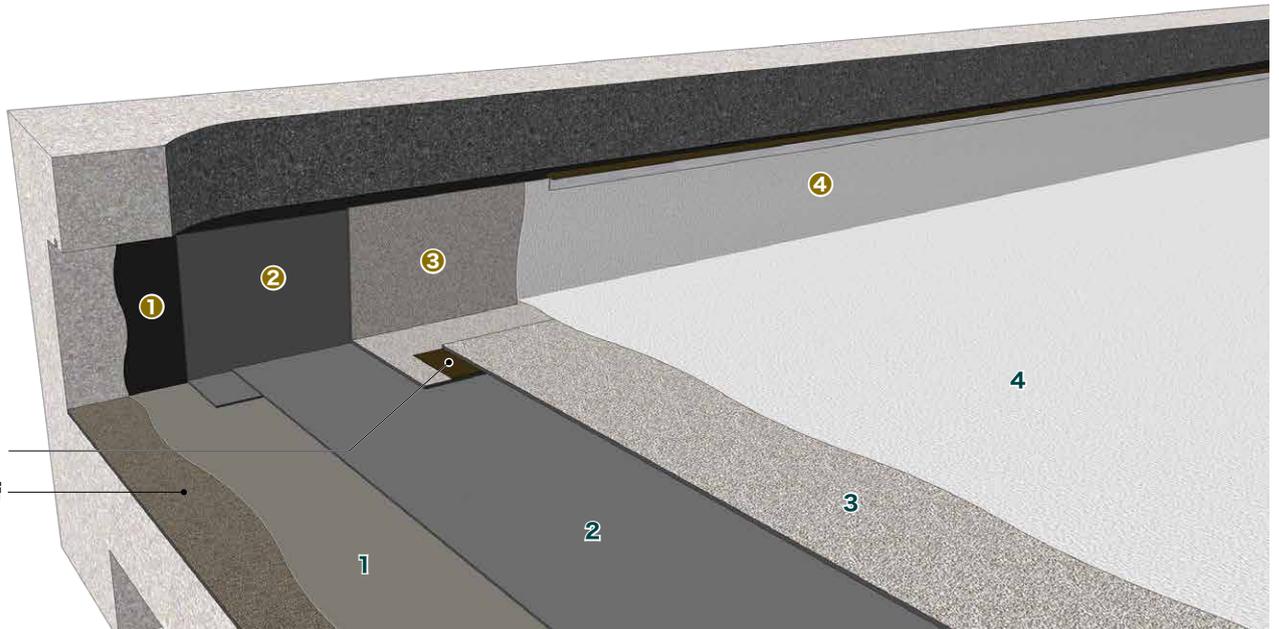
非断熱

密着

トーチ+トーチ



PSS-2



防水仕様

砂付仕上げ・複層工法

PSS-2 シリーズ

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: 約10.5kg/m²(保護塗料含まず)

厚み: 約6.5mm

基本耐用年数: 既存断熱あり・・・15年*
: 既存断熱なし・・・20年*

※3保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安 (単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	20年	18年	18年
	断熱なし	22年	21年	21年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部 (単位:/m ²)	
1	リベース※1
2	ポリマリット25
3	ポリマリットフェース※2
4	保護塗料※3

立上り部 PSV-2 (単位:/m ²)	
1	水性プライマーAS 0.2kg
2	ポリマリットGL または ポリマリット25
3	ポリマリットフェース※2
4	保護塗料※3

※1 10ページの表をご覧ください。

※2 ポリマリット40または、ポリマリット35に変更可能です。

※4 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※5 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

(9,10ページ共通注意事項)

- ・プライマーなどの下地処理材は、表面の乾燥を確認したのち、次工程に移行してください。季節・立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・保護塗料は定期的に塗り替えることをおすすめします。塗料により塗り替えサイクルが異なるのでご相談ください。
- ・ポリマリットフェース(またはポリマリット35・40)は平面部または立上り部どちらを先に施工しても構いません。
- ・立上り部施工において平面部先行の場合の工程については40ページをご参照ください。
- ・脱気は屋根使用上の障害とならない限り、ステンレスペーパーを用います。(価格別途)
- ・コーナー部への増貼り後、増貼り材表面を炙る処理を行います。

砂付仕上げ・単層工法

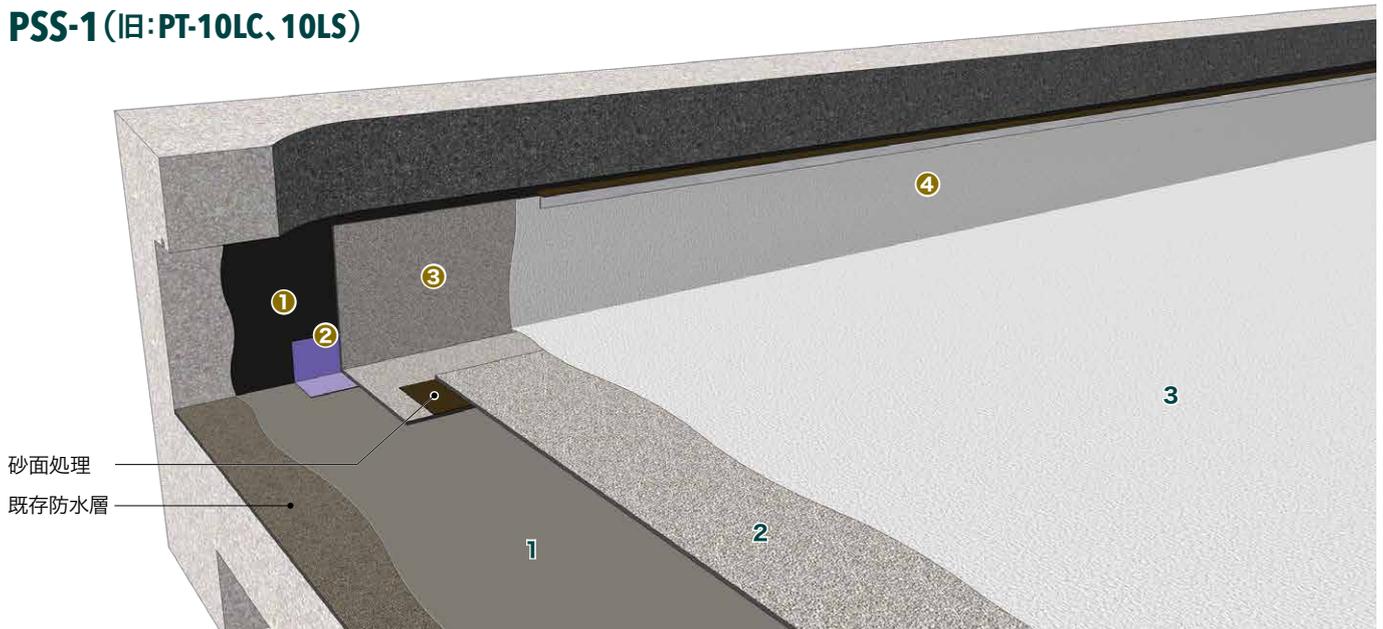
非断熱

密着

下地活性材を使用し、1層で仕上げる単層工法。



PSS-1 (旧:PT-10LC、10LS)



防水仕様

砂付仕上げ・単層工法

PSS-1 シリーズ

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: 約7kg/m² (保護塗料含まず)

厚み: 約4mm

基本耐用年数: 既存断熱あり…10年*

: 既存断熱なし…15年*

※3保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安

(単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号 (末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり	15年	13年	13年
	断熱なし	17年	16年	16年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部 (単位:/m²)

1	リベース※1
2	ポリマリットフェース※2
3	保護塗料※3

立上り部 PSV-1 (単位:/m²)

①	水性プライマーAS	0.2kg
②	ポリマリットGL(カット200) または ポリマリット25 増貼り(幅200mm程度)	
③	ポリマリットフェース※2	
④	保護塗料※3	

※下地の状態によってはPSV-2をご採用ください。

※2 ポリマリット40に変更可能です。

※4 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※5 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

※1リベース塗布量(目安)

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

砂付仕上げ・複層断熱工法

防湿

断熱

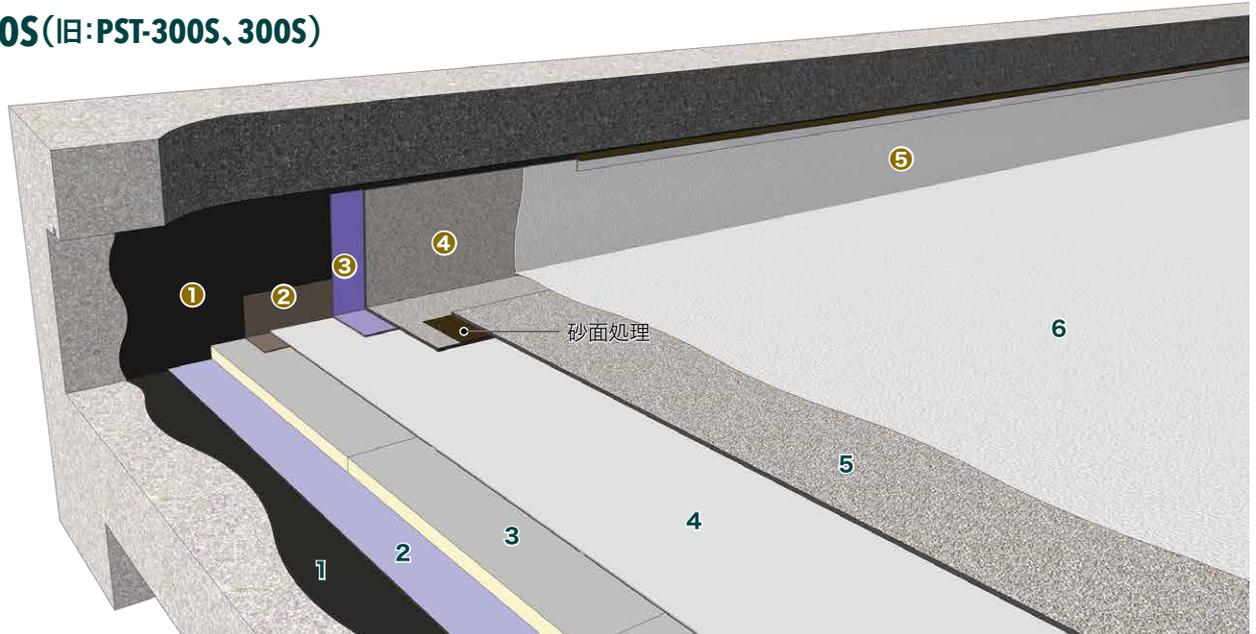
絶縁

断熱性能に優れた硬質ウレタンフォーム ギルフォームを組み込んだ外断熱工法。

常温粘着+トーチ



PCS-300S(旧:PST-300S、300S)



防水仕様

砂付仕上げ・複層断熱工法

PCS-300S シリーズ

適用下地:コンクリート
 防水層重量目安:約11.5kg/m²
 (断熱50mmの場合、保護塗料含まず)
 厚み:約56.5mm
 基本耐用年数:15年*

※2保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安 (単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり 20年	18年	18年	18年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ダンパーシート	
3	ギルフォーム	
4	ポリマリット PS	
5	ポリマリットフェース※1	
6	保護塗料※2	

立上り部 PSV-2B		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	バリテープ PM	
3	ポリマリットGL または ポリマリット25	
4	ポリマリットフェース※1	
5	保護塗料※2	

※1 ポリマリット40に変更可能です。

※3 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※4 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

(11、12ページ共通注意事項)

- ・プライマーなどの下地処理材は、表面の乾燥を確認したのち、次工程に移行してください。季節・立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・脱気は屋根使用上の障害とならない限り、ステンレスペーバスを用います。(価格別途)
- ・ポリマリットPSは貼り付け後、ローラーなどを用いて十分に転圧します。
- ・保護塗料は定期的に塗り替えることをおすすめします。塗料により塗り替えサイクルが異なるのでご相談ください。
- ・ポリマリットフェース(またはポリマリット40)は平面部または立上り部どちらを先に施工しても構いません。
- ・断熱材の厚さが50mmを超え、防火認定が必要な場合は、保護塗料はSPサーモコートを選定してください。

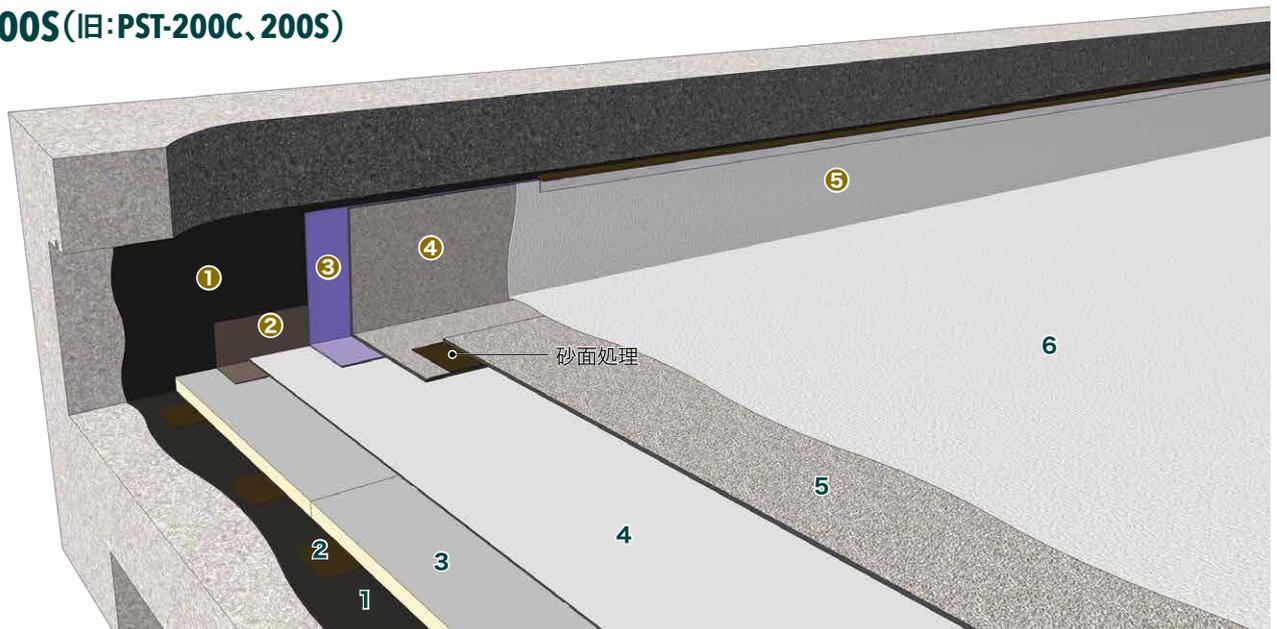
断熱

絶縁

常温粘着+トーチ



PCS-200S(旧:PST-200C、200S)



防水仕様

砂付仕上げ・複層断熱工法

PCS-200S シリーズ

適用下地:コンクリート
 防水層重量目安:約11kg/m²
 (断熱50mmの場合、保護塗料含まず)
 厚み:約55.5mm
 基本耐用年数:15年*

※2保護塗料の種類、既存・新規防水の断熱材有無による耐用年数の目安 (単位:/m²)

保護塗料	SPサーモコート 0.8~1.2kg※4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPミッドカラー 0.5~0.7kg	SPクリーンカラー 0.5~0.6kg※5
仕様番号(末尾に追記)	・TH	・SF	・SD	・SC
耐用年数	断熱あり 20年	18年	18年	18年

*日射反射型の保護塗料塗布により、防水層の耐用年数を延ばすことができます。

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイコーセメント 点貼り	0.8kg
3	ギルフォーム	
4	ポリマリット PS	
5	ポリマリットフェース※1	
6	保護塗料※2	

立上り部 PSV-2B		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	バリテープ PM	
3	ポリマリットGL または ポリマリット25	
4	ポリマリットフェース※1	
5	保護塗料※2	

※1 ポリマリット40に変更可能です。

※3 SPサーモコートの塗布量は、2回塗りの合計です。

※4 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。(平面部)

(注意事項)

・水性プライマーASの代わりに、リベース※を用いることでPSS-200S(改修 断熱仕様)にできます。その場合、立上り部は、原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマー選定については、ご相談ください。

※リベース塗布量(目安)

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

保護コンクリート仕上げ・複層断熱工法

断熱

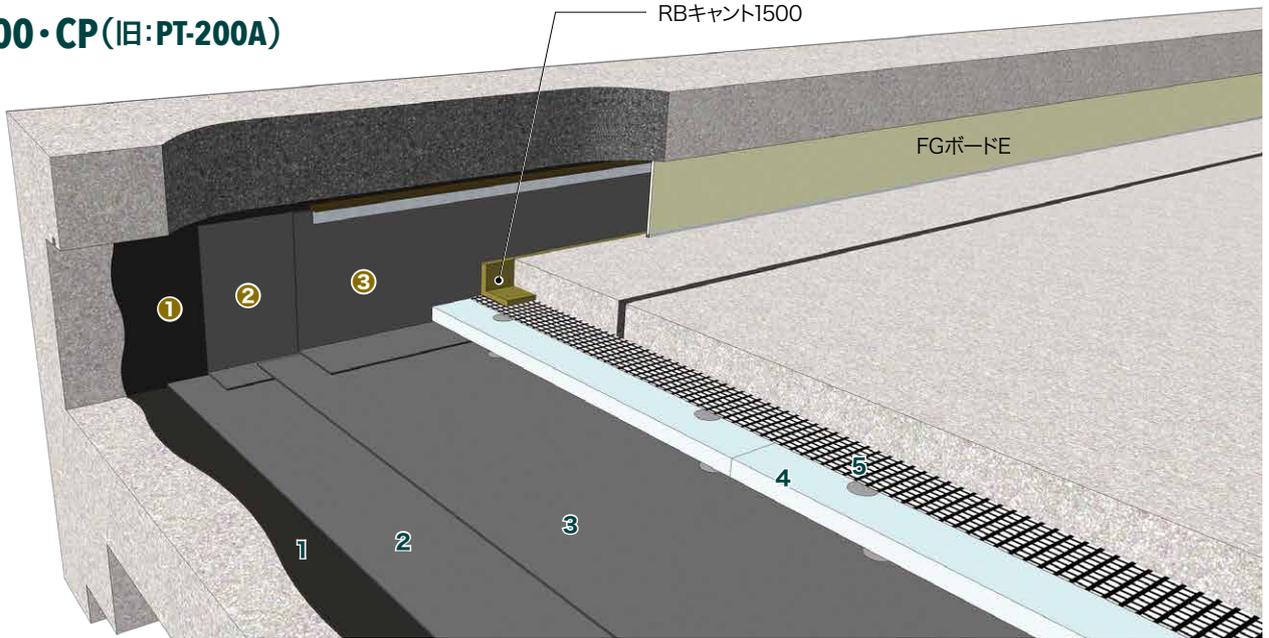
密着

不特定多数の人の歩行に対応可能なコンクリート仕上げ工法に最適な断熱材RBボード、スタイロフォームRB-GK-IIを組み込んだ工法。

トーチ+トーチ



PCC-200・CP(旧:PT-200A)



防水仕様

保護コンクリート仕上げ・複層断熱工法

PCC-200・CP

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約9kg/m²(断熱60mmの場合)

厚み:約65mm

基本耐用年数:30年

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリット25	
3	ポリマリット25	
4	RBボード または スタイロフォームRB-GK-II	
5	絶縁クロス1000	

立上り部 PSV-2C		(単位:/m ²)
①	水性プライマーAS	0.2kg
②	ポリマリット25	
③	ポリマリット25	

(13、14ページ共通注意事項)

- ・プライマーなどの下地処理材は、表面の乾燥を確認したのち、次工程に移行してください。季節・立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・ポリマリット25は平面部または立上り部どちらを先に施工しても構いません。
- ・断熱材の防水層への接着は、RBセメント(0.5kg/m²)にて点貼りします。絶縁クロス1000はRBセメントで点貼りします。
- ・RBキャント1500・FGボードEの価格は別途となります。

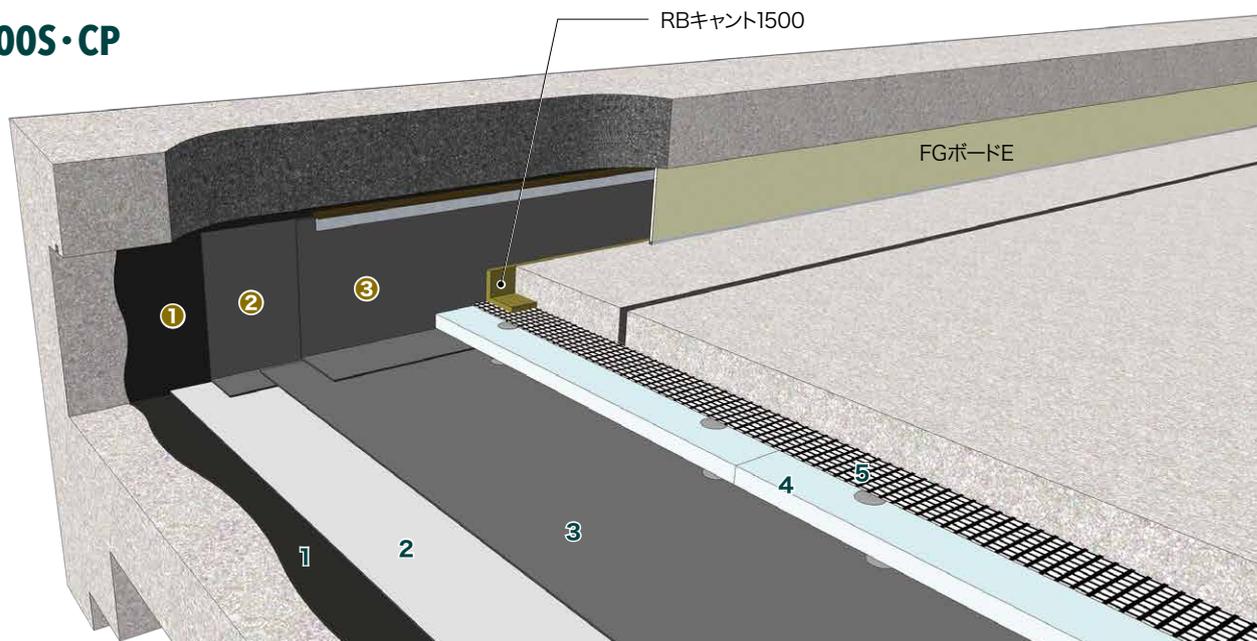
断熱

絶縁

常温粘着+トーチ



PCC-200S・CP



防水仕様

保護コンクリート仕上げ・複層断熱工法

PCC-200S・CP

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約8kg/m²(断熱60mmの場合)

厚み:約64mm

基本耐用年数:30年

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリットPS	
3	ポリマリット25	
4	RBボード または スタイロフォームRB-GK-II	
5	絶縁クロス1000	

立上り部 PSV-2C		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリット25	
3	ポリマリット25	

保護コンクリート仕上げ・複層工法

非断熱

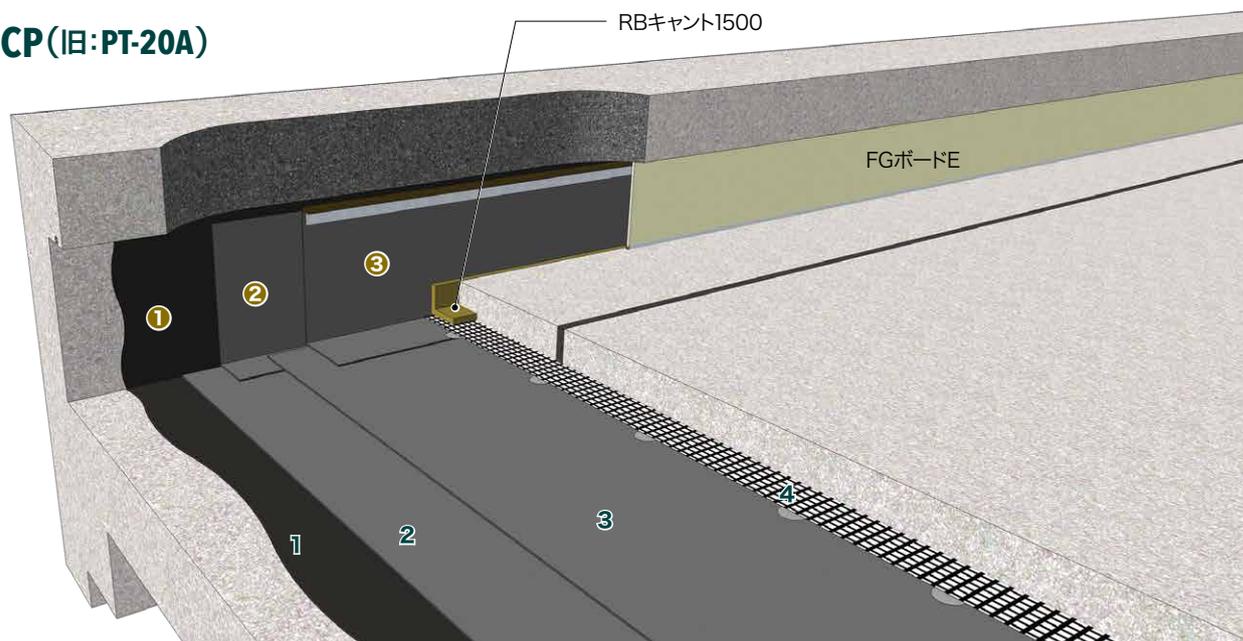
密着

不特定多数の人の歩行に対応可能なコンクリート仕上げ工法。

トーチ+トーチ



PCC-2・CP (旧:PT-20A)



防水仕様

保護コンクリート仕上げ・複層工法

PCC-2・CP

適用下地:コンクリート
 防水層重量目安:約8kg/m²
 厚み:約5mm
 基本耐用年数:25年

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリット25	
3	ポリマリット25	
4	絶縁クロス 1000	

立上り部 PSV-2C		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリット25	
3	ポリマリット25	

<15、16ページ共通注意事項>

- ・プライマーなどの下地処理材は、表面の乾燥を確認したのち、次工程に移行してください。季節・立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSS等を用いることもあります。
- ・絶縁クロス1000が飛散しないよう、RBセメントを点つけて固定します。
- ・ポリマリット25は平面部または立上り部どちらを先に施工しても構いません。
- ・RBキャント1500・FGボードEの価格は別途となります。

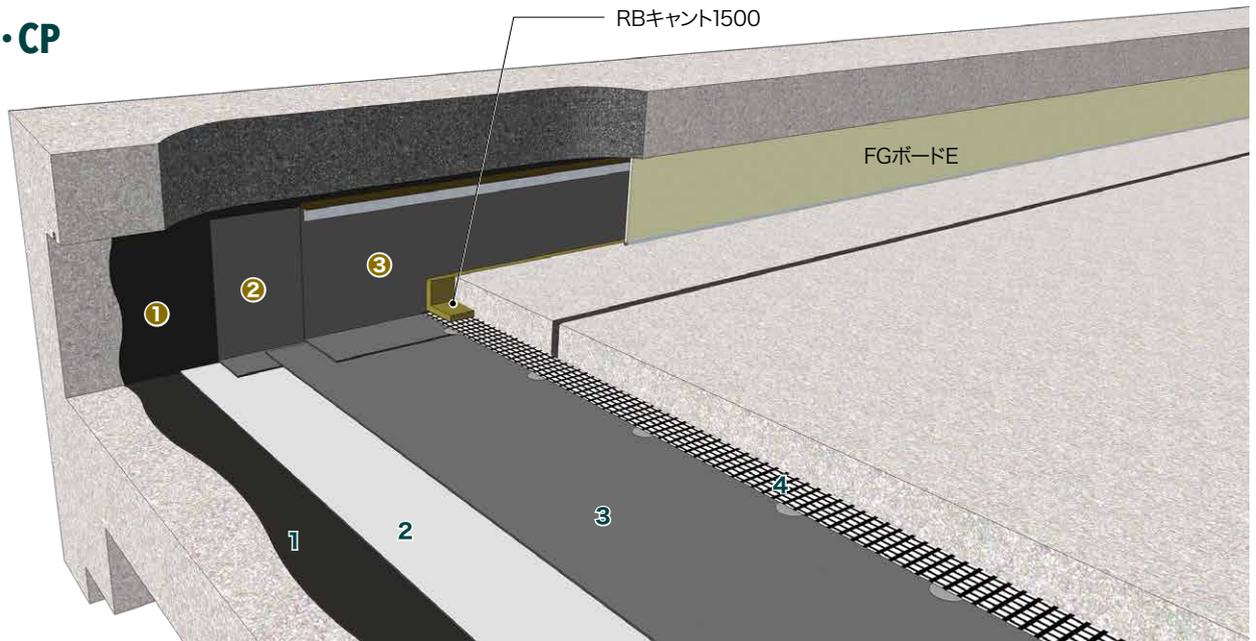
非断熱

絶縁

常温粘着+トーチ



PCC-2S・CP



防水仕様

保護コンクリート仕上げ・複層工法

PCC-2S・CP

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約6.5kg/m²

厚み:約4mm

基本耐用年数:25年

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリットPS	
3	ポリマリット25	
4	絶縁クロス 1000	

立上り部 PSV-2C		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリット25	
3	ポリマリット25	

塗膜防水併用工法 アスクールC 立上り・架台

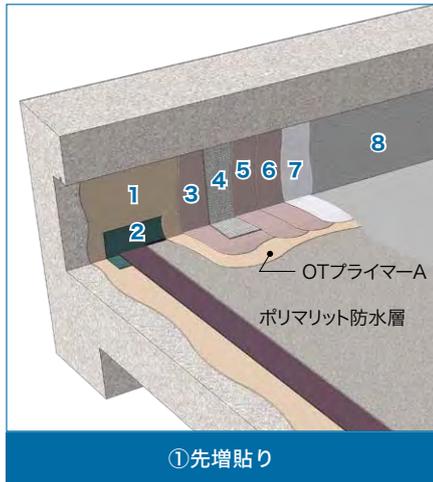
密着

ポリマリットとの接着性が良好で施工性に優れる、2液常温反応型の改質アスファルト系塗膜防水材。シートと同じ専用保護塗料を用いることで、平面部と連続したイメージに仕上がります。

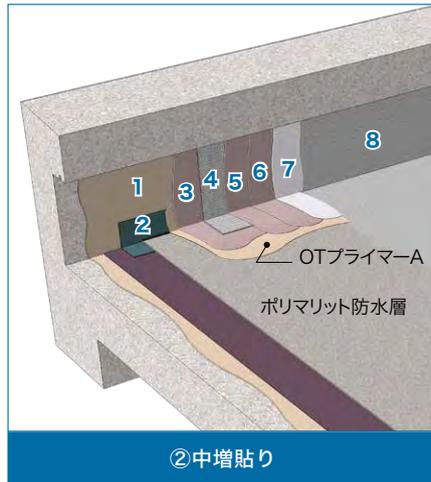
防水仕様

塗膜防水併用工法

PQ-160C 立上り

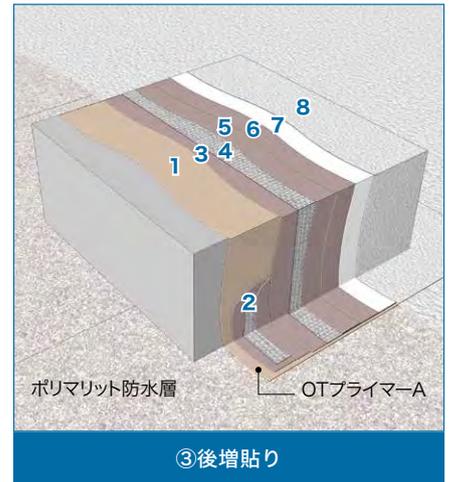


①先増貼り



②中増貼り

PQ-160C 架台



③後増貼り

PQ-160C

適用下地: コンクリート

※1 立上り・架台ともに、増貼り材を入れる位置は以下の3パターンから選択します。

- ①先増貼り: 平面部防水層施工に先立つ
- ②中増貼り: 平面部1層目と2層目の間
- ③後増貼り: 平面部施工後

立上り・架台(先増貼り/中増貼り)※1

(単位:/m²)

1	OTプライマー-A	0.2kg
2	(先増貼り/中増貼り) ポリマリットGL または ポリマリット25※2	
3	アスクールC	0.8kg
4	マットFCII	
5	アスクールC	1.2kg
6	アスクールC	0.8kg
7	SPベース(アスクールC上のみ)	0.45kg
8	保護塗料	
	SPサーモコート 0.4~0.6kg	
	SPファインカラー 0.15~0.3kg	
	SPミッドカラー 0.2~0.3kg	
	SPクリーンカラー 0.2~0.3kg ※3	

立上り・架台(後増貼り)※1

(単位:/m²)

1	OTプライマー-A	0.2kg
2	(後増貼り) アスクールC/マットFCII アスクールC	0.8kg 1.2kg
3	アスクールC	0.8kg
4	マットFCII	
5	アスクールC	1.2kg
6	アスクールC	0.8kg
7	SPベース(アスクールC上のみ)	0.45kg
8	保護塗料	
	SPサーモコート 0.4~0.6kg	
	SPファインカラー 0.15~0.3kg	
	SPミッドカラー 0.2~0.3kg	
	SPクリーンカラー 0.2~0.3kg ※3	

*アスクールCをポリマリット防水上へ塗布する範囲には、あらかじめOTプライマー-Aを塗布しておきます。

*断熱工法の場合は、ASパッチまたはバリテープPMで入隅に火が入らないように処理してください。

〈注意事項〉

※2 増貼り後、表面フィルムをあぶってからOTプライマー-Aを塗布した後に施工してください。

※3 緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(計0.7~0.8kg/m²)してください。

・立上り、側溝部、架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合は、ご相談ください。

・アスクールCには、水性プライマー-AS、アスファルトプライマー、アスファルトプライマー-SSは使用できません。

・金属下地にはプライマー-BP(0.1kg/m²)などを使用します。ウレタン下地にはOTプライマー-A(0.15kg/m²)を使用します。

・アスクールCは「エンシンシート」と組合せての使用はできません。

・端末処理を行う場合にはGCラインをご使用ください。

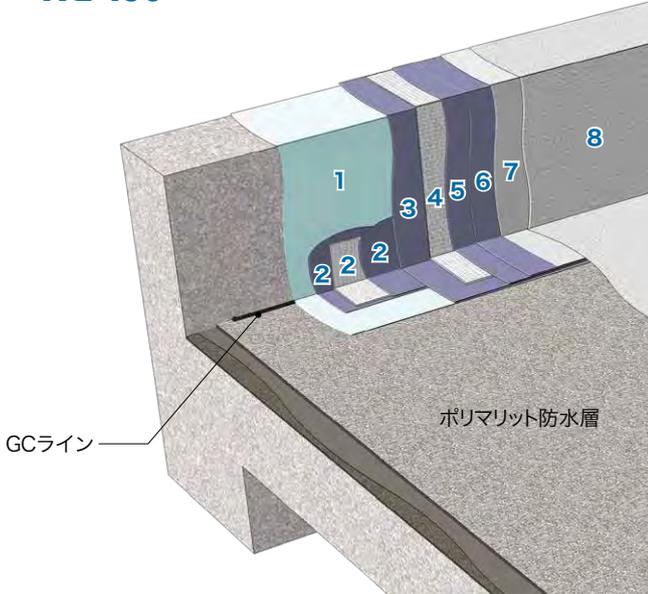
塗膜防水併用工法 アクアベース 立上り・架台

密着

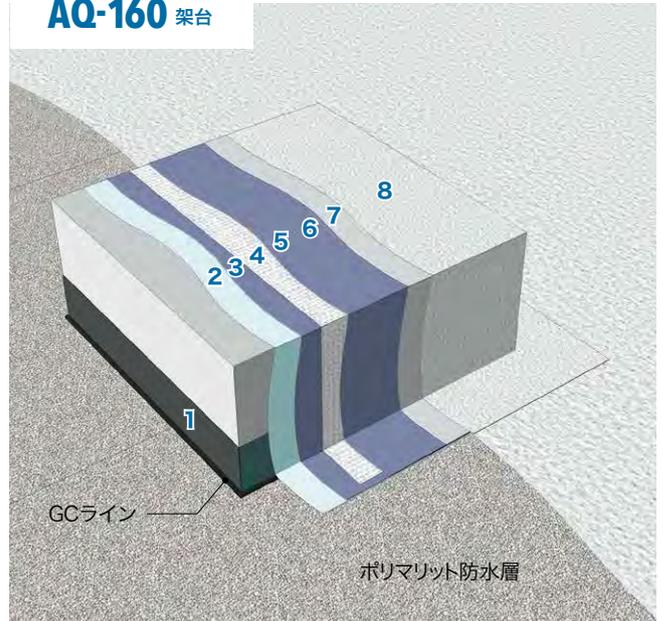
水系の2液混合型アクリルゴム系塗膜防水材。

プライマーから保護塗料まで、環境性に優れた水系材料で施工できます。立上り、架台ともに、平面部を仕上げた後に入隅部の増貼りを行う「後増貼り」と、先に入隅部を増貼りする「先増貼り」のどちらでも適用可能です。

AQ-160 立上り



AQ-160 架台



防水仕様

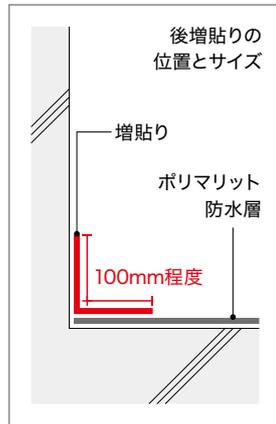
塗膜防水併用工法

AQ-160

適用下地: コンクリート

立上り(後増貼り) (単位: /m²)

1	アクアプライマー	0.15kg
2	増貼り※1	-
3	アクアベース	1.0kg
4	メッシュJK	-
5	アクアベース	1.0kg
6	アクアベース	1.0kg
7	SPファインカラー	0.15kg
8	SPファインカラー	0.15kg



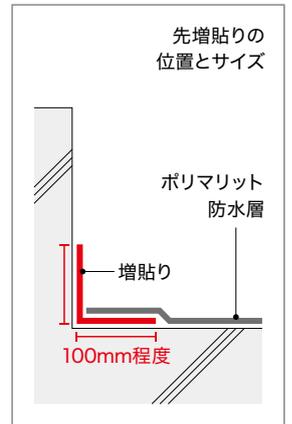
※1 後増貼りの場合、平面部の砂付ルーフィング施工後にアクアベース(1.0kg/m²)→メッシュJK増貼り→アクアベース(1.0kg/m²)の手順で施工します。

AQ-160

適用下地: コンクリート

架台(先増貼り) (単位: /m²)

1	増貼り※2	-
2	アクアプライマー	0.15kg
3	アクアベース	1.0kg
4	メッシュJK	-
5	アクアベース	1.0kg
6	アクアベース	1.0kg
7	SPファインカラー	0.15kg
8	SPファインカラー	0.15kg



※2 先増貼りの場合、ポリマリットGLなど、平面部アスファルト工法の増貼り材を使用します。その場合は2層目の施工前に行ってください。

アクアベース併用工法は、立上り部の既存防水層を撤去せずに改修を行うことも可能です。詳しくは「コンポジットシステムAS」カタログをご覧ください。

(注意事項)

- ・アクアベースの各施工は指触により表面乾燥を確認した後、次工程に移ってください。
- ・側溝などの雨水が滞留する部位にAQ-160を施工する場合は、工程6と工程7の間に仲介プライマーとして、アクアプライマー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- ・立上り、側溝部、架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合はご相談ください。
- ・アクアベース施工部位には必ずアクアプライマーを使用してください。
- ・アクアベースはエンシンシートと組合せての使用はできません。
- ・SPファインカラーに代えて、SPクリーンカラー2回塗り(0.2kg/m²+0.2kg/m²)、SPサーモコート2回塗り(0.4kg/m²+0.4kg/m²)、SPベース+SPファインカラー(0.45kg/m²+0.15~0.3kg/m²)もご採用いただけます。(価格別途)

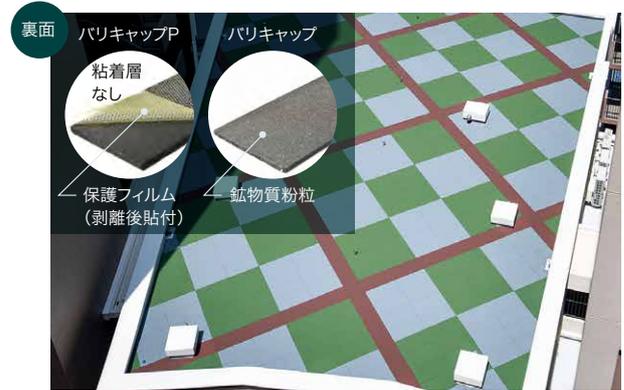
軽歩行用板状仕上げ材

ポリマリット防水の上に施工することで、軽歩行が可能となる板状仕上げ材。軽歩行を可能にするだけでなく、防水層の保護にも繋がります。アスファルト系砂付成型板から、天然の石粒、磁器タイル、ブロックタイプまで、数多くの素材から選択できます。部分的な歩行スペースや複数を貼り合わせたカラフルなパターン仕上げなど、デザイン性も豊かに屋上を彩ります。

バリキャップP/バリキャップ

厚さ6mmのアスファルト系砂付成型板で、表面に焼付彩色した砂粒（または自然色砂粒）を隙間なく密着させた、保護仕上げ材です。2色あるいは3色を組合せて、楽しくカラフルなパターン仕上げも可能です。

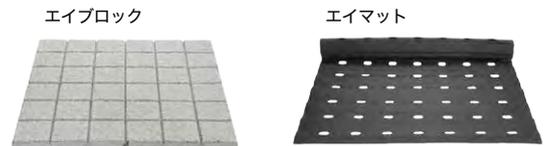
※ポリマリットフェース、ポリマリット40、ポリマリット35の上に施工する場合は、レイコーセメント(1.2kg/m²)を塗布しバリキャップを設置してください。



エイブロックBF/BJ



セメントと硬質骨材を混合し、合成繊維メッシュで補強した成型板です。防水層の上に置き敷きする簡単施工です。目地部分で折り曲げ、下地の不陸等に馴染ませて設置します。ご採用の際は、PCC-2S、PCC-200Sにエイマット敷設後、設置します。(ポリマリット25上にエイマット敷設) ※立上りについてはご相談ください。



※受注生産品
※現場の状況によりエフロッセンス(白華)が発生する場合があります。

ステップスクエア500H

天然の細かい石粒と樹脂バインダーを混合したハードタイプの成型板です。ナチュラルな風合いでデザイン性豊かな屋上に仕上げます。適度な弾力性と滑り抵抗性があり、透水性にも優れています。



※天然石のため、微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つおそれがあります。2色～3色を組合せた市松貼りなどをお薦めします。

※ガムロンタイル、ステップスクエア500Hをご採用の場合は営業員にご相談ください。

※各仕上げ材の色は印刷のため、現物との差異がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。

ガムロンタイル

耐久性の高い磁器タイルを連結し、裏面に粘着層を設けた仕上げ材です。タイル裏面の端部・角部分を曲面に加工し、歩行しても防水層表面を傷つけない形状です。



※受注生産品 (施工面積が150m²を超える場合はお問い合わせください。)

軽歩行仕上げ【バリキャップ】

非断熱

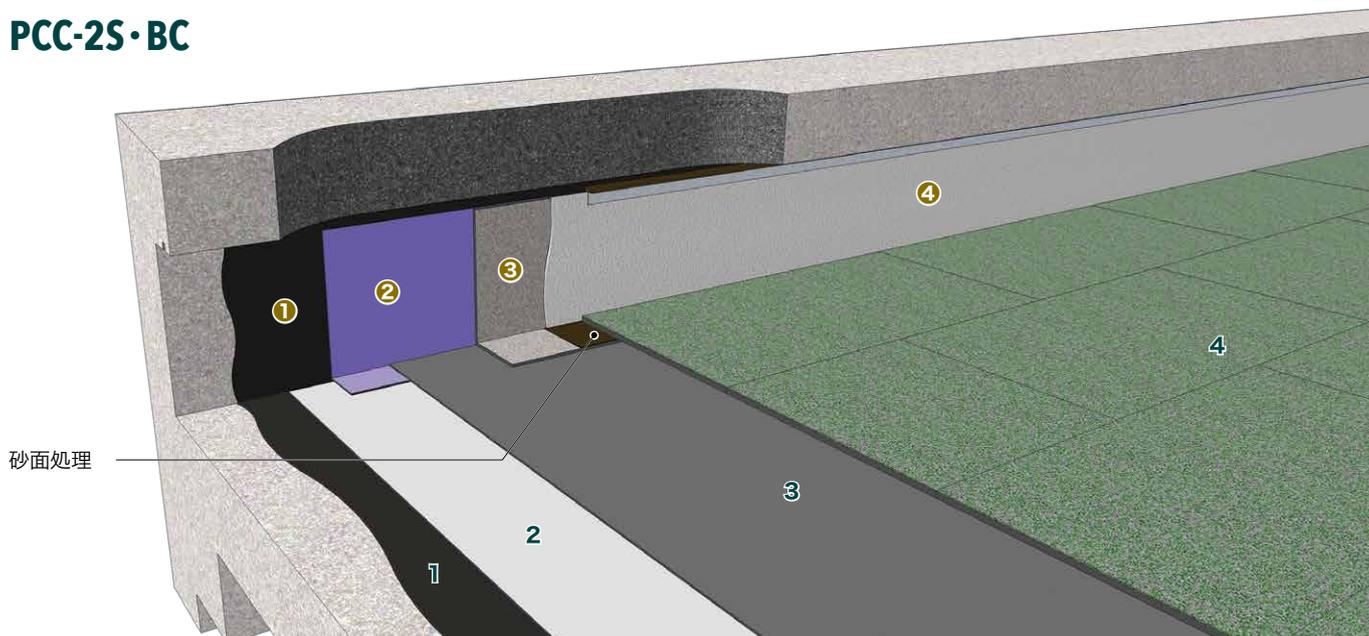
絶縁

カラフルな色合いと快適な歩行感を生み出す軽歩行仕上げ。

常温粘着+トーチ



PCC-2S・BC



防水仕様

軽歩行仕上げ

PCC-2S・BC

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約6.5kg/m²

厚み:約10mm

平面部		(単位:/m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	ポリマリットPS	
3	ポリマリット25※	
4	バリキャップP	

※ポリマリット25を塗った上にバリキャップPを設置します。

※ポリマリットフェース、ポリマリット40、ポリマリット35の上に施工する場合はレイコーセメント(1.2kg/m²)を塗布しバリキャップを設置してください。

立上り部 PSV-2		(単位:/m ²)			
1	水性プライマーAS	0.2kg			
2	ポリマリットGL または ポリマリット25				
3	ポリマリットフェース				
4	保護塗料	SPサーモコート*	SPファインカラー	SPミッドカラー	SPクリーンカラー
		0.8~1.2kg	0.4~0.6kg	0.5~0.7kg	0.5~0.6kg

*SPサーモコートの塗布量は2回塗り合計。

官公庁仕様

非断熱

密着

トーチ+トーチ

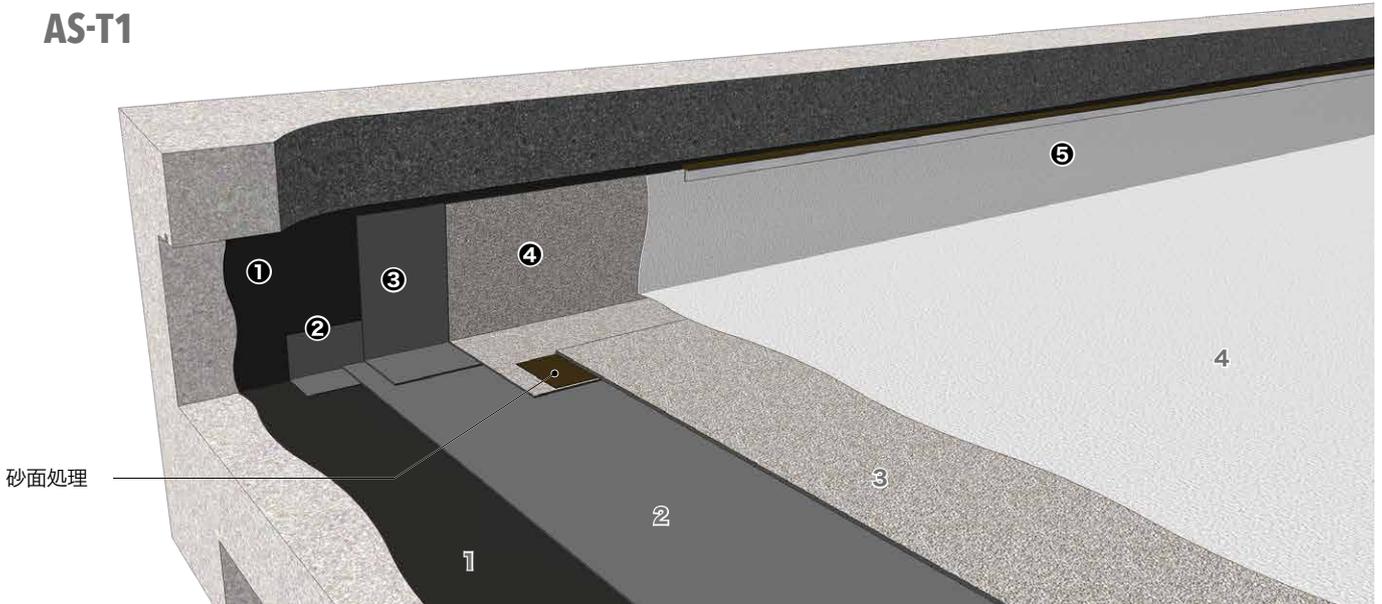


国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】 改質アスファルトシート防水 トーチ工法

【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】 改質アスファルトシート防水 トーチ工法 M4AS工法

AS-T1



AS-T1 新築・改修

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約9.5kg/m²(保護塗料含まず)

厚み:約6.5mm

AS-T1		平面部		立上り部	
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)	
1	プライマー塗り 0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	0.2(0.4)kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、2.5mm以上)	ポリマリット25		②	増貼り(幅200mm程度)
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、3.0mm以上)	ポリマリットフェース または ポリマリット35		③	ポリマリット25
4	仕上塗料塗り	SPファインカラー	0.4~0.6kg	④	ポリマリットフェース または ポリマリット35
				⑤	SPファインカラー 0.4~0.6kg

※増貼りは非露出複層 R種 200mm程度とします。
詳細は公共建築工事標準仕様書令和4年版をご参照ください。

(21、22ページ共通注意事項)

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・下地が既存防水層の場合は、工程1を省略します、アスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布します。(改修仕様のみ)
- ・水性プライマーASは、冬季の施工や、乾燥を急ぐ場合は、アスファルトプライマー、およびアスファルトプライマーSS等に変更可能です。
- ・仕上塗料の使用量は特記によります。特記がなければ改質アスファルトシート製造所の仕様を参照してください。
- ・仕上塗料は、SPファインカラーのほかにはSPサーモコート、SPミッドカラー、SPクリーンカラー、SPマルチカラー31kgセットなどがあります。使用量は塗料の種類により異なります。

非断熱

密着



AS-T2



防水仕様

官公庁仕様

AS-T2 新築・改修

適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 約6kg/m² (保護塗料含まず)

厚み: 約4mm

AS-T2		平面部		立上り部	
		(単位: /m ²)		(単位: /m ²)	
1	プライマー塗り 0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	0.2(0.4)kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、4.0mm以上)	ポリマリットフェース または ポリマリット40		②	増貼り(幅200mm程度)
3	仕上塗料塗り	SPファインカラー	0.4~0.6kg	③	ポリマリットフェース または ポリマリット40
				④	SPファインカラー 0.4~0.6kg

※増貼りは非露出複層 R種 200mm程度とします。
詳細は公共建築工事標準仕様書令和4年版をご参照ください。

■改修工法名称について (公共建築改修工事標準仕様書より)

分類	既存防水工法による区分	既存の保護層および防水層の撤去・非撤去による区分	新規防水工法の種別による区分
○ ○ ○ 工法 新規防水工法の種別による区分 既存の保護層および防水層の撤去・非撤去による区分 既存防水工法による区分	P—保護アスファルト・改質アスファルト防水工法 (断熱工法を含む) M—露出アスファルト改質アスファルト防水工法 (断熱工法を含む) S—合成高分子系ルーフィングシート防水工法 (断熱工法を含む) L—ウレタンゴム系塗膜防水工法	1—保護層および防水層撤去 2—保護層撤去および防水層非撤去 (立上り部等は撤去) 3—露出防水層撤去 4—露出防水層非撤去 (立上り部等は表 3.1.1 による) 0—保護層および防水層非撤去 (立上り部等は表 3.1.1 による)	A—屋根保護防水密着工法 B—屋根保護防水絶縁工法 AI—屋根保護防水密着断熱工法 BI—屋根保護防水絶縁断熱工法 C—屋根露出防水密着工法 D—屋根露出防水絶縁工法 DI—屋根露出防水絶縁断熱工法 AS—改質アスファルトシート防水工法 ASI—改質アスファルトシート防水絶縁断熱工法 S—合成高分子系ルーフィングシート防水工法 SI—合成高分子系ルーフィングシート防水断熱工法 X—ウレタンゴム系塗膜防水工法 E—屋内防水密着工法 Y—ゴムアスファルト系塗膜防水工法

官公庁仕様

非断熱

絶縁

常温粘着+トーチ

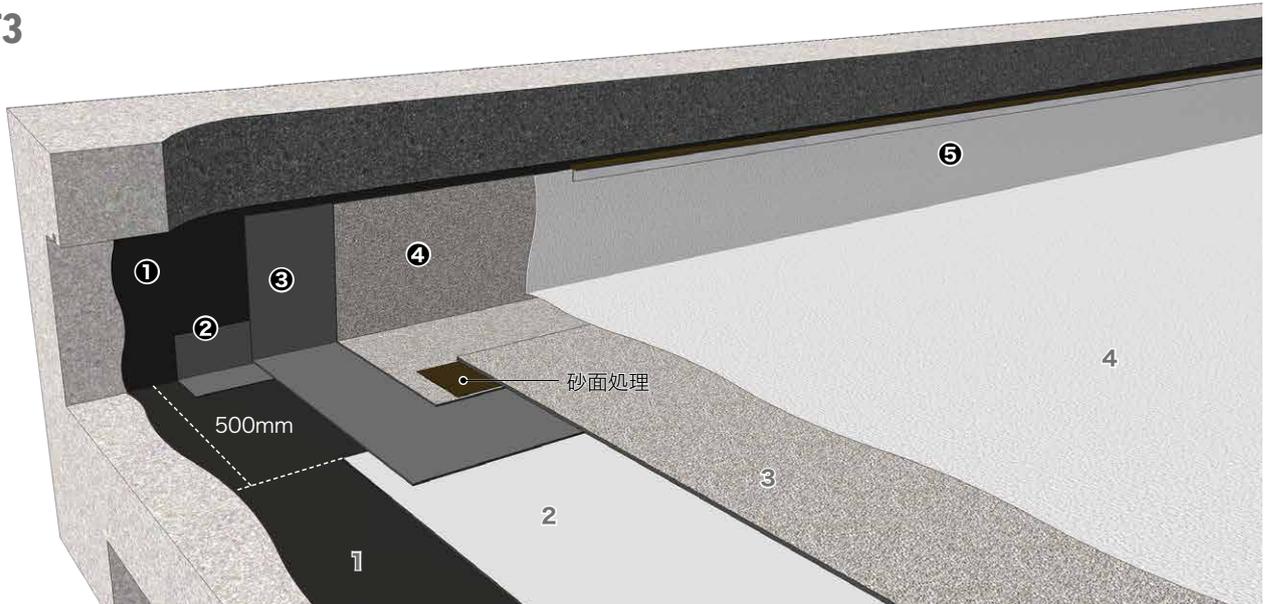


国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】 改質アスファルトシート防水 トーチ工法

【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】 改質アスファルトシート防水 トーチ工法 M3AS工法 POAS工法

AS-T3



AS-T3 新築・改修

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約8.5kg/m²

厚み:約5.5mm

AS-T3		平面部		立上り部	
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)	
1	プライマー塗り 0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	0.2(0.4)kg	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	ポリマリットPS		②	増貼り(幅200mm程度)
3	改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、3.0mm以上)	ポリマリットフェース または ポリマリット35		③	ポリマリット25
4	仕上塗料塗り	SPファインカラー	0.4~0.6kg	④	ポリマリットフェース または ポリマリット35
				⑤	SPファインカラー 0.4~0.6kg

※増貼りは非露出複層 R種 200mm程度とします。

※立上り際、500mm程度は密着貼りとします。

〈注意事項〉

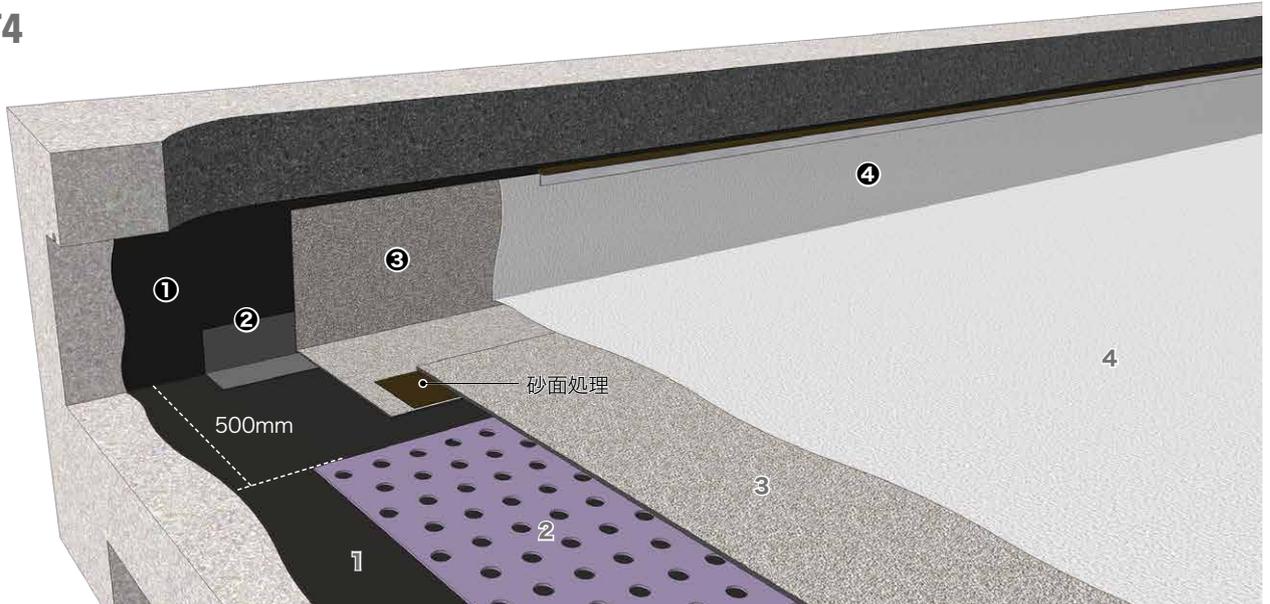
- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・立上り部は、工程3を改質アスファルトシート非露出複層防水用R種2.5mm以上(ポリマリット25)とします。
- ・水性プライマーASは、冬季の施工や、乾燥を急ぐ場合は、アスファルトプライマー、およびアスファルトプライマーSS等に変更可能です。
- ・仕上塗料の使用量は特記によります。特記がなければ改質アスファルトシート製造所の仕様を参照してください。
- ・仕上塗料は、SPファインカラーのほかにはSPサーモコート、SPミッドカラー、SPクリーンカラー、SPマルチカラー31kgセットなどがあります。使用量は塗料の種類により異なります。

非断熱

絶縁



AS-T4



防水仕様

官公庁仕様

AS-T4 新築・改修

適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 約7kg/m²

厚み: 約5mm

AS-T4		平面部		立上り部		
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)		
1	プライマー塗り	0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	①	水性プライマーAS	0.2kg
2	あなあきシート		PMスポット32	②	増貼り(幅200mm程度)	
3	改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、4.0mm以上)		ポリマリットフェース または ポリマリット40	③	ポリマリットフェース または ポリマリット40	
4	仕上塗料塗り		SPファインカラー	④	SPファインカラー	0.4~0.6kg

※増貼りは非露出複層 R種 200mm程度とします。

※立上り際、500mm程度は密着貼りとします。

《注意事項》

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・立上り部はあなあきシートを省略します。
- ・水性プライマーASは、冬季の施工や、乾燥を急ぐ場合は、アスファルトプライマー、およびアスファルトプライマーSS等に変更可能です。
- ・仕上塗料の使用量は特記によります。特記がなければ改質アスファルトシート製造所の仕様を参照してください。
- ・仕上塗料は、SPファインカラーのほかSPサーモコート、SPミッドカラー、SPクリーンカラー、SPマルチカラー31kgセットなどがあります。使用量は塗料の種類により異なります。
- ・PMスポット32は突きつけとし、通気のため改質アスファルトシート片(200mm×100mm程度)を3~4m間隔を目安に設けます。

官公庁仕様

断熱 絶縁

常温粘着+トーチ

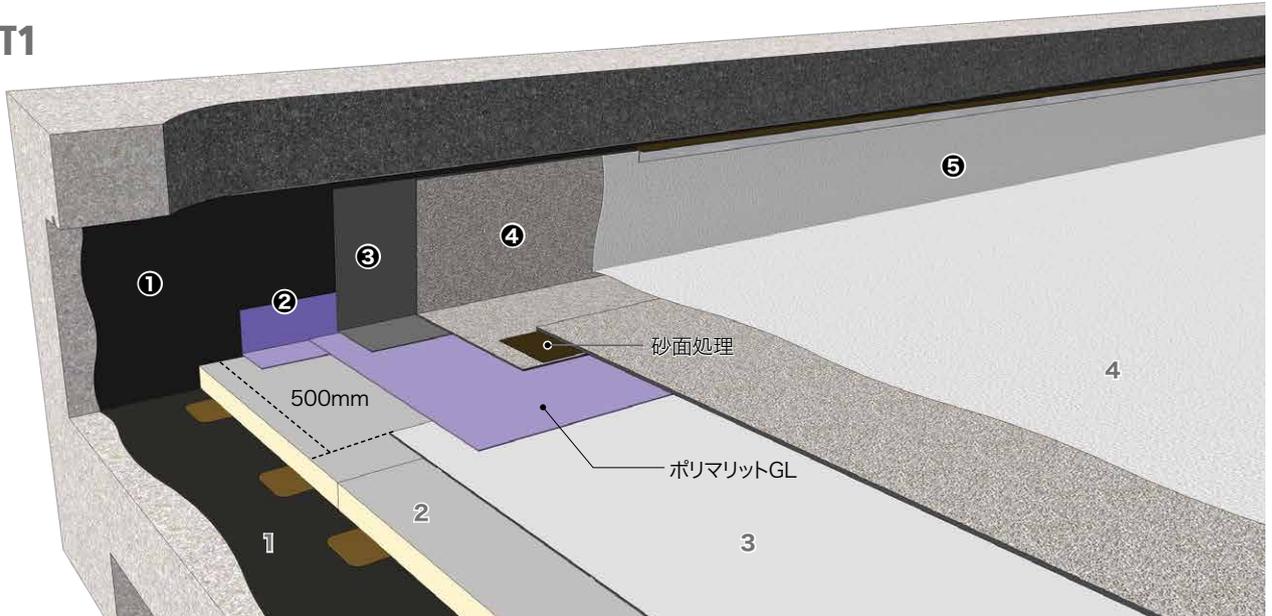


国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 令和4年版 9章 防水工事】 改質アスファルトシート防水 トーチ工法

【公共建築改修工事標準仕様書 令和4年版 3章 防水改修工事】 改質アスファルトシート防水 トーチ工法 M3ASI工法 M4ASI工法 POASI工法

ASI-T1



ASI-T1 新築・改修

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約11kg/m²(保護塗料含まず、断熱材50mmの場合)

厚み:約55.5mm

ASI-T1		平面部		立上り部	
		(単位:/m ²)		(単位:/m ²)	
1	プライマー塗り	0.2(0.4)kg	水性プライマーAS	①	水性プライマーAS 0.2kg
2	断熱材張付け		ギルフォーム (レイコーセメントにより張付け)	0.8kg	② ポリマリットGL(カット200) 増貼り(幅200mm程度)
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)		ポリマリットPS	③	ポリマリット25
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、3.0mm以上)		ポリマリットフェース または ポリマリット35	④	ポリマリットフェース または ポリマリット35
5	仕上塗料塗り		SPファインカラー	0.4~0.6kg	⑤ SPファインカラー 0.4~0.6kg

※増貼りは非露出複層 R種 厚さ1.5mm以上、W200mm程度=ポリマリットGL(カット200) とします。

※立上り際、500mm程度はポリマリットGLを全面密着させます。

(注意事項)

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・下地が既存防水層の場合は、工程1を省略し、アスファルト系下地調整材を1.0kg/m²程度塗布します。(改修仕様のみ)
- ・立上り部は、工程3を非露出複層防水用R種2.5mm以上(ポリマリット25)とする。
- ・水性プライマーASは、冬季の施工や、乾燥を急ぐ場合は、アスファルトプライマー、およびアスファルトプライマーSS等に変更可能です。
- ・仕上塗料の使用量は特記によります。特記がなければ改質アスファルトシート製造所の仕様を参照してください。
- ・仕上塗料は、SPファインカラーのほかSPサーモコート、SPミッドカラー、SPクリーンカラー、SPマルチカラー31kgセットなどがあります。使用量は塗料の種類により異なります。
- ・防湿層の設置は特記によります。(防湿層にはダンパーシートを用い、レイコーセメントは省略します。)
- ・断熱材の厚さが50mmを超え、防火認定が必要な場合は、保護塗料はSPサーモコートを選定してください。

公共住宅建設工事共通仕様

【公共住宅建設工事共通仕様書 令和元年度版】

本仕様は公共建築工事標準仕様と同じ仕様に独自仕様を加えられた構成です。

以下に公共住宅建設工事共通仕様書の独自仕様のみ記載しました。(公共建築工事標準仕様につきましては、21～25ページをご参照ください。)

屋根保護防水密着工法(トーチ工法)

				(単位:/m ²)
1	プライマー塗り	0.2kg	アスファルトプライマー	0.2kg
2	改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種,2.5mm以上) トーチバーナーによる張り付け		ポリマリット25	
3	改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種,2.5mm以上) トーチバーナーによる張り付け		ポリマリット25	
4	絶縁用シート※1		絶縁シート	
5	保護コンクリート※2		—	

※1 立上り部は絶縁シートを省略します。

※2 保護コンクリートには溶接金物を敷き込みます。

屋根保護防水密着断熱工法(トーチ工法)

				(単位:/m ²)
1	プライマー塗り	0.2kg	アスファルトプライマー	0.2kg
2	改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種,2.5mm以上) トーチバーナーによる張り付け		ポリマリット25	
3	改質アスファルトシート(非露出複層防水用R種,2.5mm以上) トーチバーナーによる張り付け		ポリマリット25	
4	断熱材※1		RBボードまたはスタイロフォームRB-GK-II	
5	絶縁用シート※1		絶縁クロス1000	
6	保護コンクリート※2		—	

※1 立上り部は断熱材および絶縁シートを省略します。

※2 保護コンクリートには溶接金物を敷き込みます。

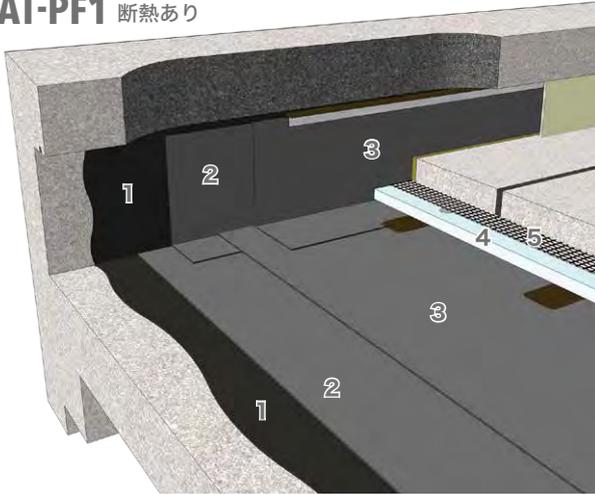
日本建築学会仕様

【建築工事標準仕様書 JASS8 防水工事 2022】

防水仕様

日本建築学会仕様

AT-PF1 断熱あり



AT-PF1

適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 約8kg/m²(非断熱の場合)

: 約9kg/m²(断熱60mmの場合)

厚み : 約5mm(非断熱の場合)

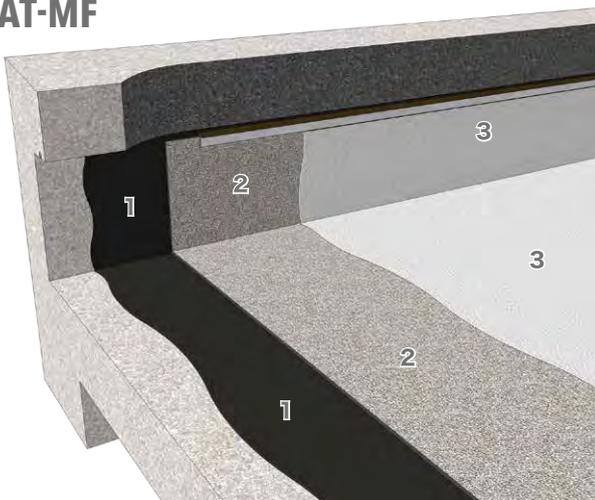
: 約65mm(断熱60mmの場合)

AT-PF1		平面部/立上り部 (単位:/m ²)	
1	プライマー塗り 0.2kg	アスファルトプライマー	0.2kg
2	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上) トーチ張り	ポリマリット25	
3	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上) トーチ張り	ポリマリット25	

現場打ちコンクリート仕上げの場合		平面部/立上り部 (単位:/m ²)	
4	絶縁用シートの敷込み	絶縁クロス1000	

現場打ちコンクリート仕上げ断熱ありの場合		平面部/立上り部 (単位:/m ²)	
4	断熱材用接着剤による断熱材の張付け	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II RBセメント (点貼り)	
5	絶縁用シートの敷込み	絶縁クロス 1000	

AT-MF



AT-MF

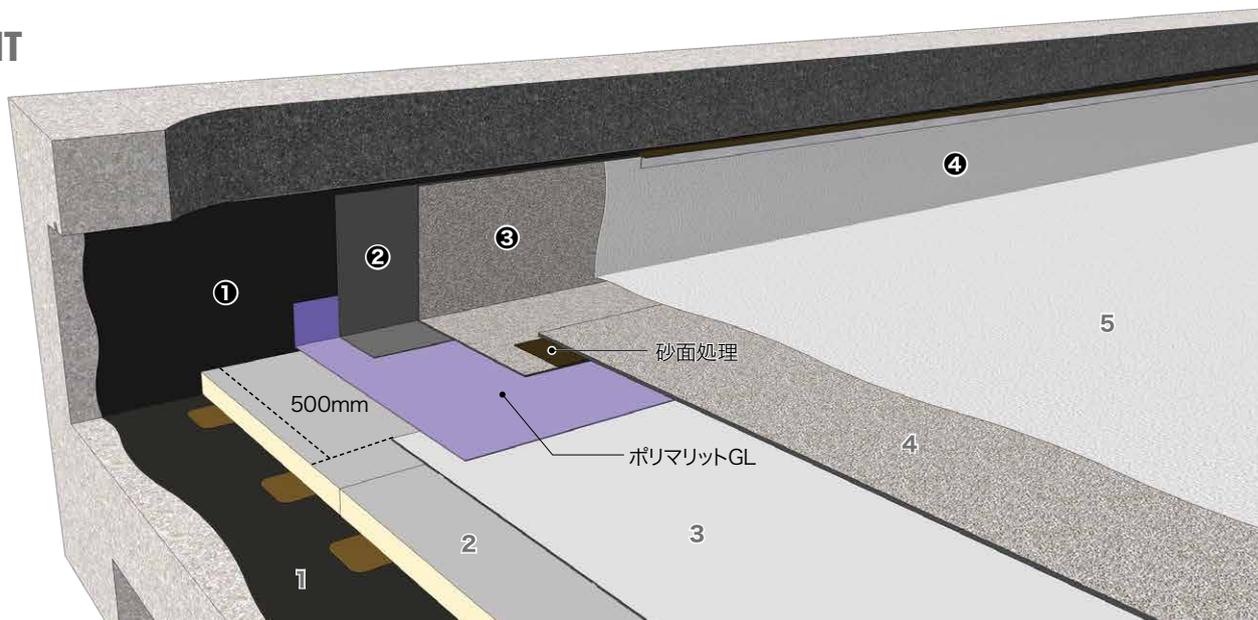
適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 約6kg/m²(保護塗料含まず)

厚み: 約4mm

AT-MF		平面部/立上り部 (単位:/m ²)	
1	プライマー塗り 0.2kg	アスファルトプライマー	0.2kg
2	改質アスファルトシート (露出単層防水用、厚さ4.0mm以上) トーチ張り	ポリマリットフェース	
3	仕上塗料塗りまたはなし	SPファインカラー	0.4~0.6kg

AT-MT



AT-MT

適用下地:コンクリート

防水層重量目安:約11kg/m²(断熱50mmの場合、保護塗料含まず)

厚み:約55.5mm

AT-MT		平面部		(単位:/m ²)
1	プライマー塗り	0.2kg	アスファルトプライマー	0.2kg
2	断熱材張付け		ギルフォーム レイコーセメント(点貼り)	0.8kg
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ1.5mm以上) 張付け		ポリマリットPS	
4	改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ3.0mm以上) トーチ張り		ポリマリットフェース	
5	仕上塗料塗りまたはなし		SPファインカラー	0.4~0.6kg

※立上り際はポリマリットGLを500mm程度全面密着させ、100mm立ち上げます

立上り部				(単位:/m ²)
①	プライマー塗り	0.2kg	アスファルトプライマー	0.2kg
②	改質アスファルトシート (非露出複層防水用、厚さ2.5mm以上) トーチ張り		ポリマリット25	
③	改質アスファルトシート (露出複層防水用、厚さ3.0mm以上) トーチ張り		ポリマリットフェース	
④	仕上塗料塗りまたはなし		SPファインカラー	0.4~0.6kg

〈注意事項〉断熱材の厚さが50mmを超え、防火認定が必要な場合は、保護塗料はSPサーモコートを選定してください。

UR都市機構保全工事共通仕様

【 保全工事共通仕様書 令和5年版 】

2章 4節 屋根外断熱露出防水工事

保全工事共通仕様書 **2.4.2** | 外断熱露出アスファルト防水工法(全面修繕 1回目)

2.4.1 表 断熱部(平場)既存防水層の下地処理 ●…かぶせ方式 □…撤去方式 (単位:/m²)

平場	種別	対応製品	
1 不陸調整	●	クールベース	—
	□	リグレー・ネオ	—
2 アスファルト活性剤	●	リベース	1.0kg
3 速乾性プライマー	□	アスファルトプライマーSS	0.2kg
4 増張り用シート	□	ポリマリット25※	—

※火器(バーナー)を使用できない場合は、ポリマリットGLに変更する場合がある。

2.4.2 表 断熱部(平場)の工程 (単位:/m²)

平場	対応製品	
1 接着剤(注)1	レイコーセメント	0.8kg
1 粘着材(部分粘着型シート、粘着層付テープ状シート、粘着層付レベラー材等)	—	—
2 硬質ウレタンフォーム(注)2	ギルフォーム	—
3 断熱材張り継ぎ部補強用テープ W≥50mm	ハイテープM-50	—
4 部分粘着型通気絶縁用シート	ポリマリットPS	—
5 改質アスファルトルーフィング(露出単層防水用)	ポリマリットフェース	—
6 仕上塗料	SPファインカラー	0.4~0.6kg

(注)1 工程1の接着剤は、部分接着(点張り)又は全面接着により、種別は製造所の仕様による。

(注)2 工程2の硬質ウレタンフォームの厚さは特記による。

2.4.3 表 断熱部および非断熱(立上り部)の工程 (単位:/m²)

平場	対応製品	
1 速乾性プライマー	アスファルトプライマーSS	0.2kg
2 増張り用シート	ポリマリット25※	—
3 改質アスファルトルーフィング(露出単層防水用)	ポリマリットフェース	—
4 アスファルト防水工事用シール、押え金物	強力ガムシール(GCライン)	—
5 仕上塗料	SPファインカラー	0.4~0.6kg

※火器(バーナー)を使用できない場合は、ポリマリットGLに変更する場合がある。

2章 4節 屋根外断熱露出防水工事

保全工事共通仕様書 2.4.2 | 外断熱露出アスファルト防水工法(全面修繕 1回目)

2.4.4 表 非断熱(平場)の工程 ●…かぶせ方式 □…撤去方式

(単位:/m²)

平場	種別	対応製品	
1	アスファルト活性剤	1.0kg	● リベース 1.0kg
	速乾性プライマー	0.2kg	□ アスファルトプライマーSS 0.2kg
2	増張り用シート(注)1	—	●/□ ポリマリット25※ —
3	部分粘着型通気絶縁用シート (水抜きシートを設置する場合)(注)2	—	●/□ ポリマリットPS —
4	改修用ドレイン(注)3	—	●/□ リードレンC —
5	改質アスファルトルーフィング (露出単層防水用)(注)4	—	●/□ ポリマリットフェース —
6	仕上塗料	製造所の仕様による	●/□ SPファインカラー 0.4~0.6kg

※火器(バーナー)を使用できない場合は、ポリマリットGLに変更する場合がある。

(注)1 工程2は「かぶせ方式」の場合により、取付け範囲は2.4.2の4口①による。

(注)2 工程3は水抜きシートを設置する場合に適用する。

(注)3 工程4は既存ドレインに取り付ける。なお、水抜きシート等を設置する場合は特記による。

(注)4 工程5は外断熱保護防水層に接続する。

2章 6節 脱気絶縁複合防水工事(非歩行用)

保全工事共通仕様書 2.6.2 | 脱気絶縁複合防水(非歩行用改質アスファルト全面修繕 1回目)

2.6.1 表 脱気絶縁部(平場)の工程

(単位:/m²)

平場	対応製品	
1	速乾性アスファルトプライマー	0.2kg アスファルトプライマーSS 0.2kg
2	通気絶縁用シート(注)	— ポリマリットPS —
3	改質アスファルト(砂付)ルーフィング	— ポリマリットフェース —
4	仕上塗料	製造所の仕様による SPファインカラー 0.4~0.6kg

(注) 工程2は脱気装置の取付けを含む。

2.6.2 表 密着部(平場および立上り等)の工程

(単位:/m²)

平場	対応製品	
1	速乾性アスファルトプライマー	0.2kg アスファルトプライマーSS 0.2kg
2	目地補強用テープ	— ポリマリットGL(カット200) —
3	改質アスファルト(砂付)ルーフィング	— ポリマリットフェース —
4	仕上塗料	製造所の仕様による SPファインカラー 0.4~0.6kg

下地処理材・仮防水材

既存防水層の種類や状況に応じて選択可能な下地処理材と仮防水材

アスファルトパネル 下地処理材(乾式)

バリボードS、PS

厚さ4mmのアスファルト成型板で、既存下地に点貼りすることで防水層に最適な下地をつくりあげ、その上に直接ポリマリットの施工ができます。凹凸のあるタイル下地等も、バリボードの敷設により平滑な下地が簡単にできあがります。下地処理を簡略化・スピード化する乾式工法です。バリボードは、同質のアスファルト系テープで目地貼りすることで、平面部防水層としての機能も発揮します。



バリボードPS貼付け(レイコーセメント)

荷姿	適用下地	接着剤・プライマー	ジョイントテープ
寸法:0.9×1m 厚さ:4.0mm	アスファルト露出防水	レイコーセメント 点貼り 0.5kg/m ² ※3	バリテープPM (バリボードSジョイント) バリテープC (バリボードPSジョイント)
	アスファルト保護防水※1	レイコーセメント 点貼り 0.5kg/m ² ※4	
	ウレタン塗膜防水※2	プライマー※5+VTエース 0.3kg/m ²	
	加硫ゴムシート防水※2	VTエース 0.3kg/m ²	
	塩ビシート防水接着工法※2	プライマー※6+VTエース 0.3kg/m ²	

※1 保護材は保護コンクリート、モルタル、高圧ブロック、タイル等とします。

※2 下地シートの種類や劣化の状態により適応できない場合があります。

※3 既存アスファルト防水の状況によっては、レイコーセメントに代えて速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)+セメントMS(0.5kg/m²)を使用することができます。

※4 下地の状況によっては、「水性プライマーMS(0.2kg/m²)+セメントMS(0.5kg/m²)」または「速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)+セメントMS(0.5kg/m²)」を使用することができます。

※5 OTプライマーA(または速硬化OTプライマーMブルー)を塗布します。(0.1kg/m²)

※6 VTプライマーG(0.1kg/m²)を塗った後、OTプライマーA(0.1kg/m²)を塗ります。

改修工事用目地処理材(乾式)

メジパス

既存保護コンクリート伸縮目地撤去後にアルミ製目地キャップ「メジパス」をシール材で固定する乾式の目地処理工法です。目地部の挙動緩衝、新規防水層のフクレ防止に効果を発揮します。



メジパス



固定材料組合わせ例

プライマー※ …… 水性プライマーAS

固定材 …… GCライン

※アスファルトプライマーは適用できません。

【規格】90mm×1m

厚さ……0.3mm 100枚/箱

仮防水材(湿式)

アスグランド

「アスグランド」は、既存防水層撤去後の雨養生となる仮防水材です。下地追従性と立上り部の施工性に優れています。既存防水層を撤去し、アスグランドを施工した後、プライマー不要でアスファルト系防水の施工が可能です。



アスグランド
(混和液)
9kg/缶

グラント
パウダー
12kg/袋

標準使用量

しごき塗り …… 0.4kg/m²

本塗り …… 1.0kg/m²

適用下地:

防水層撤去後の
コンクリート下地等

※アスグランド1缶に対し、グラントパウダー1袋で1セット(目安約15m²分、配合物比重1.4)となります。小分けする場合は、その配合重量比となります。(配合重量比3:4)

SBR系ポリマーセメントモルタル(湿式)

リグレー・ネオ

コンクリート下地等によく接着し、広い範囲で使用されるポリマーセメントモルタルです。

モルタル中に樹脂皮膜が形成されるため水分が早期蒸発せず、ドライアウトを起こしにくく施工後の亀裂の発生を抑えます。防湿、耐水性、耐衝撃性、耐薬品性に優れています。

■薄塗り用(下地調整など)

リグレー・ネオ 混和液	パウダー	配合比重
4kg	9kg	1.8



標準使用量

2mm厚→混和液8kg+薄塗り用18kgで約7.2m²施工可能。

5mm厚→混和液4kg+厚塗り用20kgで約2.4m²施工可能。

適用下地: コンクリート下地・モルタル下地

■厚塗り用(不陸水たまり調整など)

リグレー・ネオ 混和液	パウダー	配合比重
4kg	20kg	2.0

【注意】

リグレー・ネオに水を添加しないでください。

水性エポキシ系下地調整材(湿式)

リグレーエポ

コンクリート等の下地はもちろん、タイル、金属材など特殊な各種下地材への接着性に優れた水性エポキシ系の下地調整材です。硬化が速く低温時においても翌日に溶剤系材料の施工が可能です。しごき塗りにより、荒れたコンクリート面に皮膜を形成します。

■標準塗布: 1~2mm(下地調整など)

主剤	硬化剤	パウダー	配合比重
1kg	1kg	5kg	1.8



標準使用量

1mm厚→28kgセットで、約16m²施工可能。

5mm厚→28kgセット+珪砂4kg(合計32kg)で、約3.2m²施工

適用下地: コンクリート・モルタル・エポキシ床材・磁器質タイル・鉄板
ステンレス板・ガラス板・アルミ板等の下地

※酸化被膜のないアルミ素材はセメント成分と反応して発泡する場合があります。事前に確認試験を行ってください。シルバー塗料の上には使用できません。

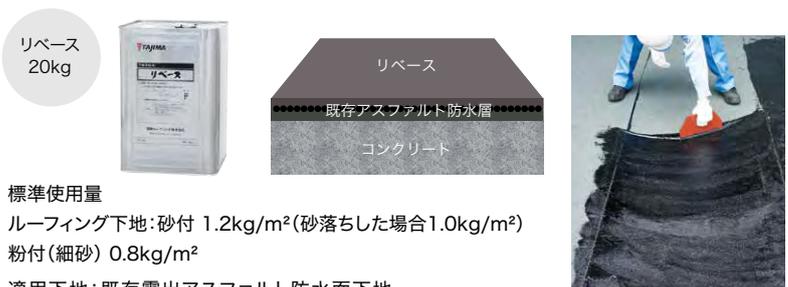
■厚塗り用: 2~5mm(不陸水たまり調整など) ※珪砂は別途ご用意ください

主剤	硬化剤	パウダー	珪砂(6~7号)	配合比重
1kg	1kg	5kg	1kg	2.0

アスファルト系下地処理材(湿式)

リベース

既存アスファルト系防水層の上に塗布することで、新規アスファルト防水層との接着力を向上させる、アスファルト系下地活性材。プライマー不要で、アスファルト系防水の施工が可能です。



標準使用量

ルーフィング下地: 砂付 1.2kg/m²(砂落ちした場合1.0kg/m²)

粉付(細砂) 0.8kg/m²

適用下地: 既存露出アスファルト防水面下地

クールベース

既存アスファルト系防水層の部分撤去後の穴埋めや、不陸調整などに適している水性ゴムアスファルト系下地処理材です。既存砂付ルーフィング全面に塗布することもできます。プライマー不要で、アスファルト系防水の施工が可能です。



標準使用量

砂付ルーフィング下地 1.4~2.0kg/m²

水溜り部補修など最大 30mm厚まで

不陸調整1回の最大塗布 5mm厚まで

適用下地: 既存露出アスファルト防水面下地

※詳細は「防水下地処理ガイドブック」をご覧ください。

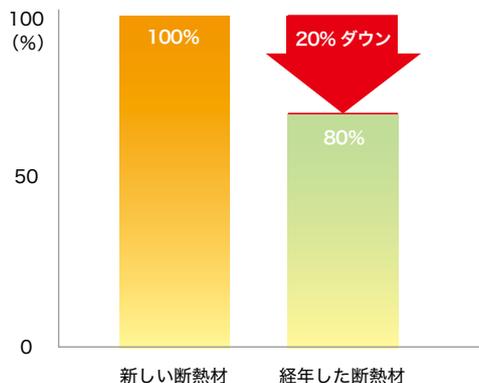
断熱改修工法

屋上防水に断熱材を組み込む外断熱工法は、夏の暑さ、冬の寒さなど外部からの熱の影響を和らげることで冷房・暖房効率を改善し、省エネルギー化とともに快適な居住環境をつくります。また、熱による躯体の膨張・収縮を軽減し、建物の長寿命化にも寄与します。防水改修時には、この断熱性能を維持する改修もあわせて行うことができます。

断熱材の経年と性能劣化

露出断熱防水に用いられる断熱材(硬質ウレタンフォーム)は断熱性が高い素材ですが、新設時から10年~15年の経過で性能が約20%低下することが近年の研究で明らかになっています。断熱材が水分と触れて吸湿吸水した場合はさらに劣化が進み、断熱性能が90%低下した例も確認されています。

初期の熱抵抗値を100%とした場合、10~15年の経過で約20%性能低下



一般財団法人建築環境・省エネルギー機構『住宅の省エネルギー基準の解説(第3版)』2009年3月

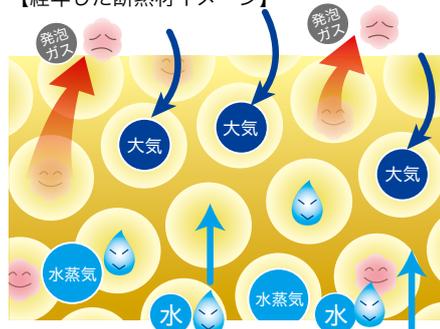


【新しい断熱材イメージ】



新しい断熱材は、内部の気泡の中に、断熱性能の高い発泡ガスが閉じ込められています。

【経年した断熱材イメージ】



時間が経つごとに気泡内のガスが抜け、ガスより断熱性の低い大気に入れ替わります。断熱材が吸湿吸水した場合も断熱性が低下します。

既存の断熱材を活かして更新できるポリマリットの断熱改修工法

ポリマリットは既存防水層の上に比較的容易に断熱材を施工することが可能です。防水改修時に既存の断熱防水層を撤去せずとも、防水層とともに新規断熱材を重ねるかたちで断熱性能を回復します。

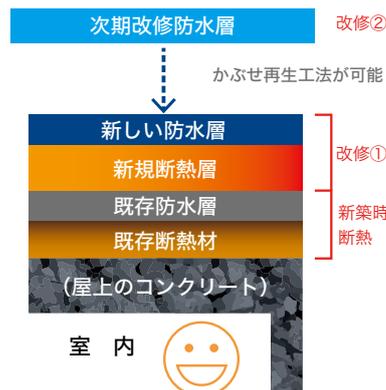
十分な断熱性能を確保できれば、次の改修は防水のみのかぶせ改修が可能です。



屋上の断熱材も古くなると性能が劣化



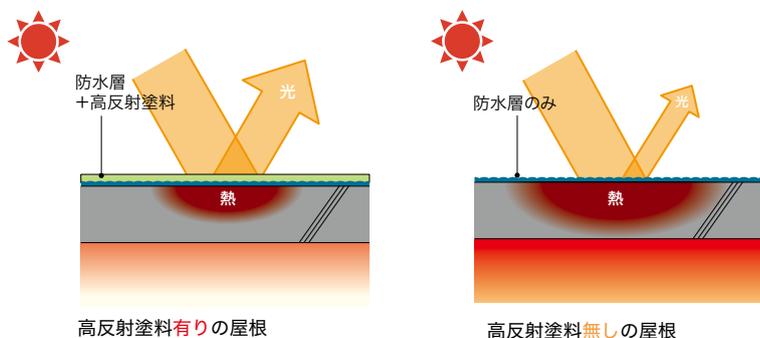
防水改修時に断熱材を組み込んで、断熱性能も回復!



※漏水等で既存断熱材が水分を多量に含んでいる場合は、断熱材の撤去・更新をご検討ください。

断熱工法に欠かせない高反射保護塗料の効果

防水との組合せによる屋上の「外断熱工法」は大きな断熱効果を発揮します。その一方で断熱材上の防水層は、断熱材で侵入を遮られた日射の熱量をすべて受け止めることになるため、特に夏場、高温となり劣化の進行が速くなる傾向にあります。そこで防水層を守る強い味方となるのが、太陽光を反射する機能を持つ高反射保護塗料です。



高反射塗料の効果

太陽光は物体(屋上)に当たった時点で熱エネルギーに変換されます。屋上防水に高反射塗料が施されていると、太陽光が表面で反射するため、光の総量が少なくなり、その結果熱エネルギーに変換される量も減少します。高反射塗料により太陽光をより多く反射させることは熱の発生を抑制し、防水層の温度上昇を抑えます。

【高反射塗料の有無による防水層表面温度の差をサーモグラフで比較】



高反射塗料「SPシリーズ」

太陽光による建物の温度上昇を大幅に抑制し、防水層の耐久性向上に寄与する高反射塗料シリーズです。アスファルト露出防水の仕上げ材として開発した保護塗料のため、ガムクールとの相性がよく、特に付着性が優れています。水性塗料ですので、施工時の火災や中毒の心配もありません。

※SPシリーズの詳細については50ページをご覧ください。

建物に要求される断熱性能

建物の内部と外部を隔てる境界部分である外壁・屋根・窓などのことを「外皮」と呼び、これらの部位には断熱性、気密性、遮音性などが求められます。断熱性能については「外皮平均熱貫流率(UA)」で表され、地域によって達成基準となるUA値が定められています。

■共同住宅の単位住戸の外皮基準※

都道府県名	地域区分	外皮平均熱貫流率 (UA) 単位: W/m ² K
北海道	1.2	0.46
青森県・岩手県・秋田県	3	0.56
宮城県・山形県・福島県・新潟県・長野県・栃木県	4	0.75
茨城県・群馬県・山梨県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・滋賀県 埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県 京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県 岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県 佐賀県・長崎県・熊本県・大分県	5.6	0.87
宮崎県・鹿児島県	7	0.87
沖縄県	8	—

※平成二十八年経済産業省・国土交通省第一号 建築物エネルギー消費性能等を定める省令 第一条の二 イ(1)より引用

技術資料

ポリマリットフェースとポリマリットPSの層間接着強度

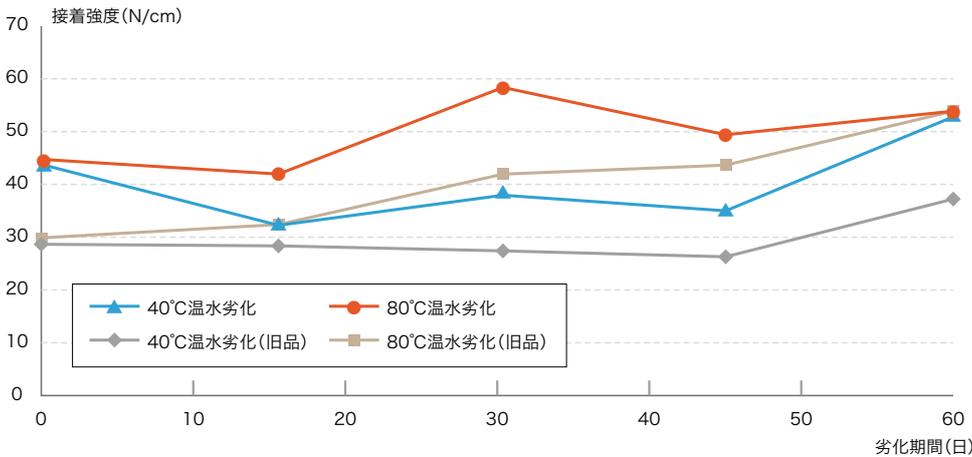
2層仕様において層間の接着強度は水密信頼性を長期にわたって保持するために重要な性能です。新しくなったポリマリット防水は旧品*と比較しても安定した接着強度を保っています。

旧品*:ポリマリットキャップ、ポリマリットSTの層間接着強度

□試験方法

公共建築工事標準仕様書「AS-T3」、ポリマリット防水工法「PSS-2S」に対して、40°C温水劣化と80°C熱劣化を60日間実施後、180°ピーリング試験により、層間の接着強度を測定した。

□試験結果



180°引き剥がし試験後
層間の接着状況：凝集破壊

新しくなったポリマリット防水は旧品に比べ、より高い層間接着強度を有しています。

下貼り用改質アスファルトシート表面温度低減

新しい下貼り用改質アスファルトシート「ポリマリットPS」は表面を白色化することで、特に夏季屋外使用時での表面温度を低減し、施工者の作業負担を軽減します。

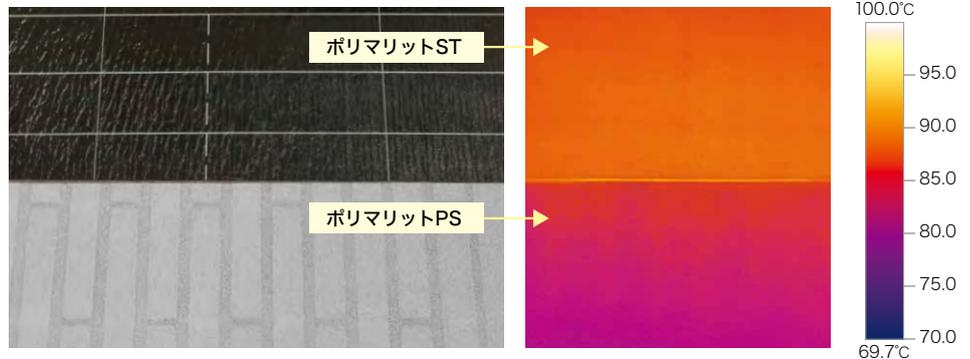
□試験方法

ポリマリットPSとポリマリットSTを屋外に敷設しサーモカメラにて表面温度の計測を行った。

日程:2023年7月18日

時間:12:00 気温:37.0°C(都内)

□試験結果(サーモカメラ)



ポリマリットPSは従来品(ポリマリットST)に比べ大幅(約10~15°C)に表面温度を抑える効果があります。

防水層の積層による力学的特性の向上

●機械的強度(抗張積の比較)

アスファルト防水で使用されるアスファルト系ルーフィングはそれぞれJIS規格に基づく試験方法によりその性状を確認することができます。しかし、実際の防水層は様々なルーフィングの組合せにより構成されているため、防水層全体の強度比較は一般的に防水層の抗張積※により比較されます。

※抗張積:ルーフィングの引張り強さ(N)と最大荷重時の伸び率(%)の積で求められる、ルーフィングの破断に要するエネルギーを表す数値。

強度試験

ポリマリット防水の以下の2仕様について比較します。

仕様① 単層

PSS-1(ポリマリットフェース)

仕様② 積層

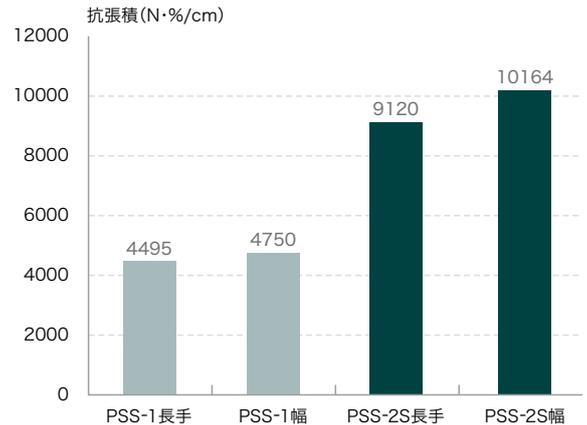
PSS-2S(ポリマリットPS+ポリマリットフェース)

□試験方法

上記試験片を引張試験機に取り付け、速度100mm/分で試験片が破断するまで引っ張り、最大荷重及び破断時の変位量を求め、抗張積を計算した。

□試験結果

PSS-2S仕様はPSS-1仕様と比較し、長手、幅ともに、2倍以上の抗張積を持ち、防水層として機械的強度に優れていることがわかります。



積層防水はルーフィング(改質アスファルトシート)が複数枚となることで、より高い強度となります。

下地活性材による効果検証および新旧防水層の延命効果

かぶせ改修による防水層の延命効果を、既存防水層と新設防水層で確認します。

針入度試験

- 試験体…①:改修を行わない場合(既存防水層)
 ②:かぶせ改修を行う場合(既存防水層・新規防水層)
 ③:既存を撤去して改修を行う場合(新規防水層)

□試験方法

各試験体に80°C熱劣化を2, 4, 8, 12時間実施後、①の既存防水層、②の既存防水層および新規防水層、③の新規防水層の針入度を測定し変化率を求めた。(既存防水層は最上層の張り付けアスファルト、新規防水層は改質アスファルトルーフィング粘着材を採取)

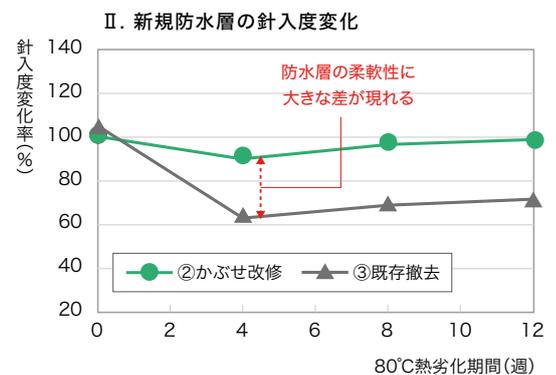
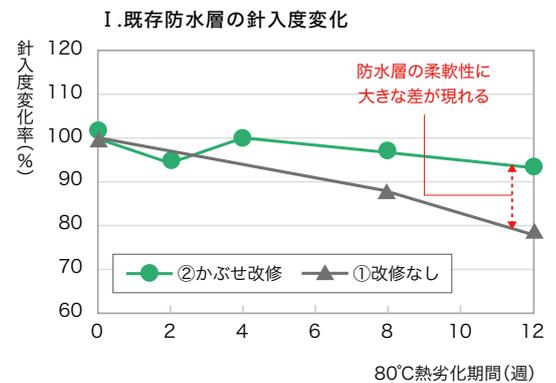
□試験結果

I. 既存防水層の針入度変化(かぶせ改修による既存防水層の延命効果)

②かぶせ改修を行った既存防水層は、下地処理材の再活性効果により既存防水層の柔軟性が回復し針入度の上昇がみられた。また、その後の針入度低下も緩やかになっていた。

II. 新規防水層の針入度変化(かぶせ改修による新規防水層の延命効果)

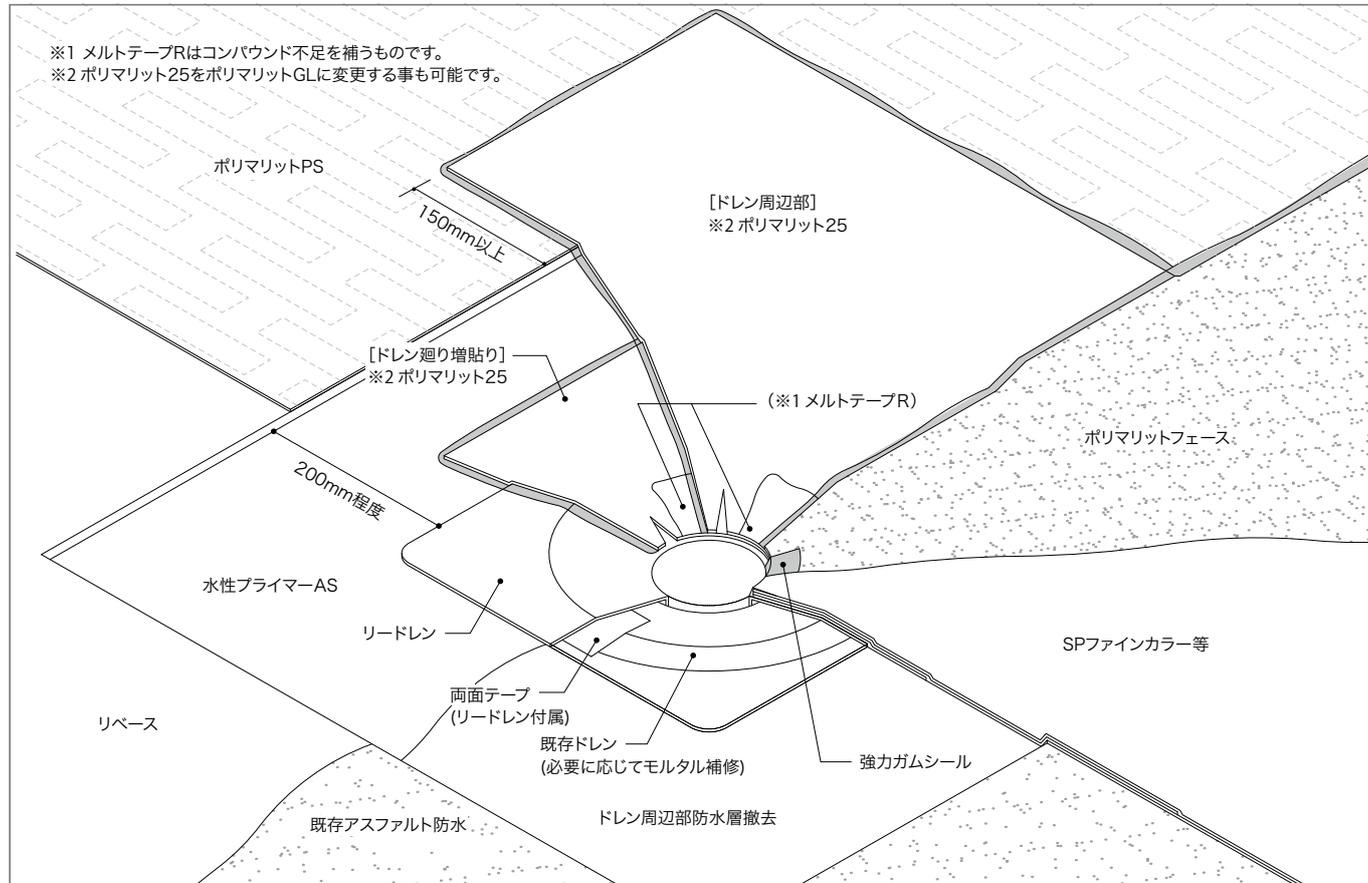
②かぶせ改修を行った新規防水層は、③既存防水層を撤去した新規防水層に比べ、針入度の低下が緩やかになっていた。



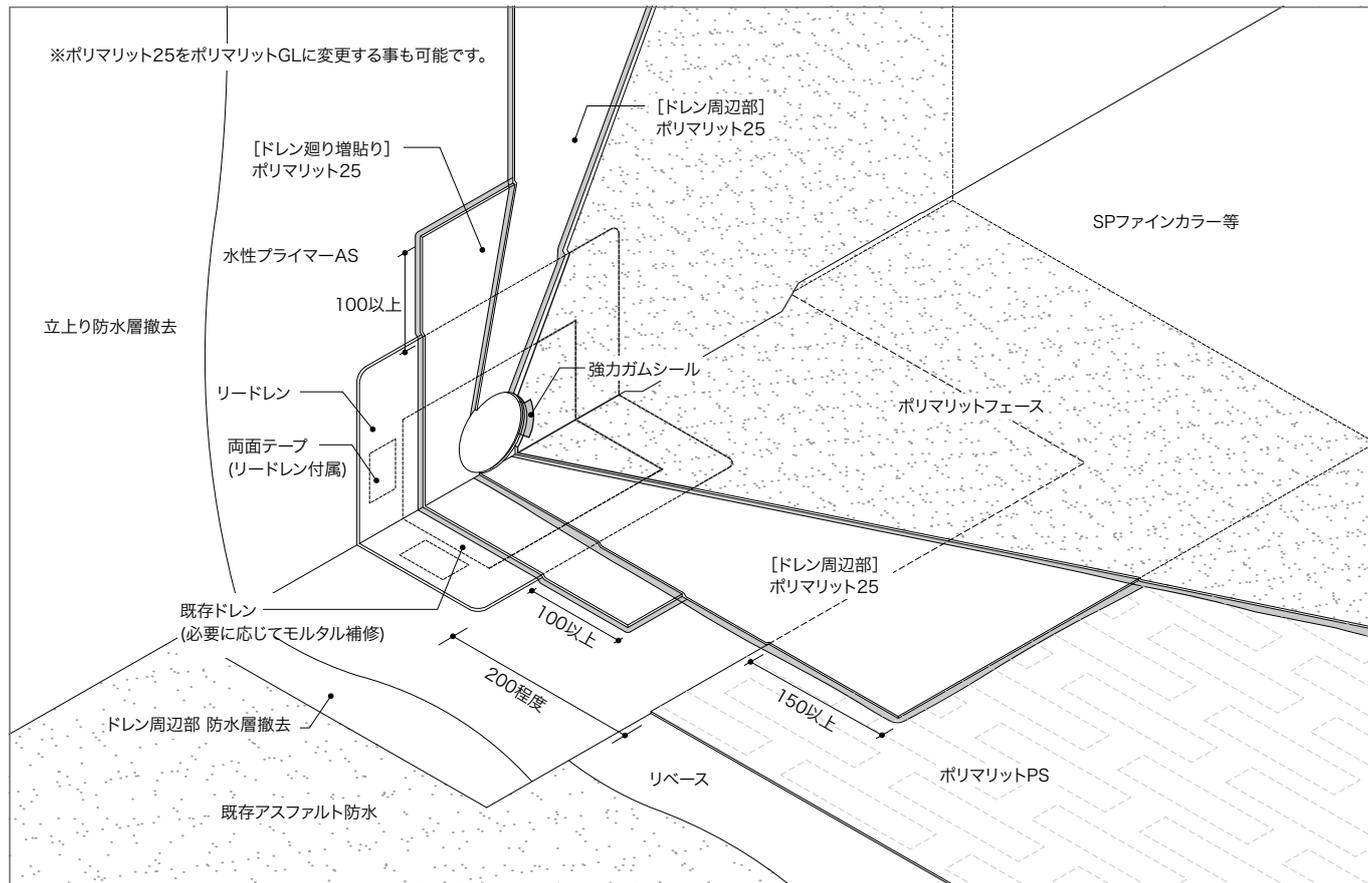
アスファルト系下地処理を用いたかぶせ改修を行うことで、既存層・新規層ともに延命効果が期待できます。

納まり図例

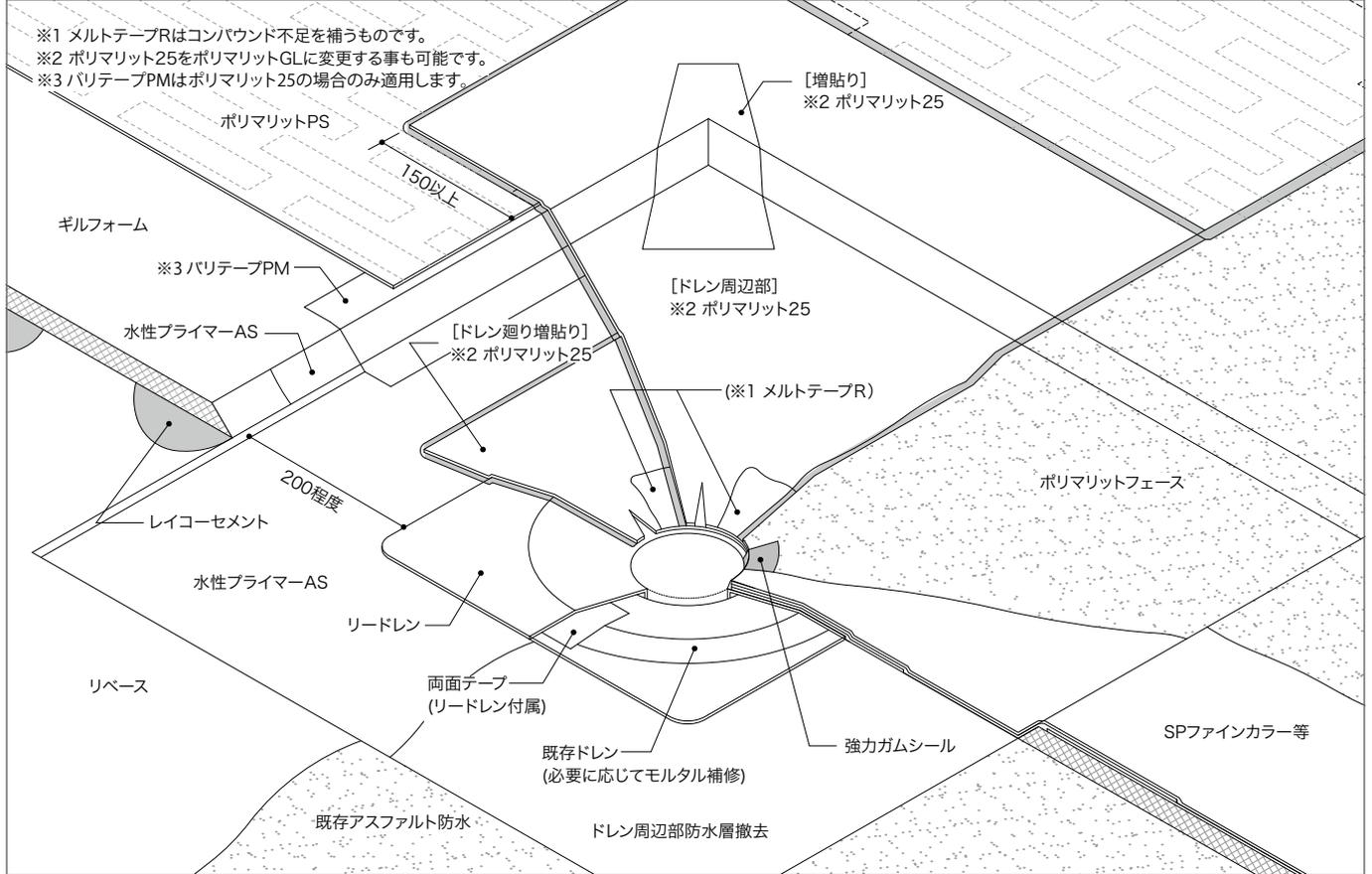
改修用ドレン(縦) PSS-2S



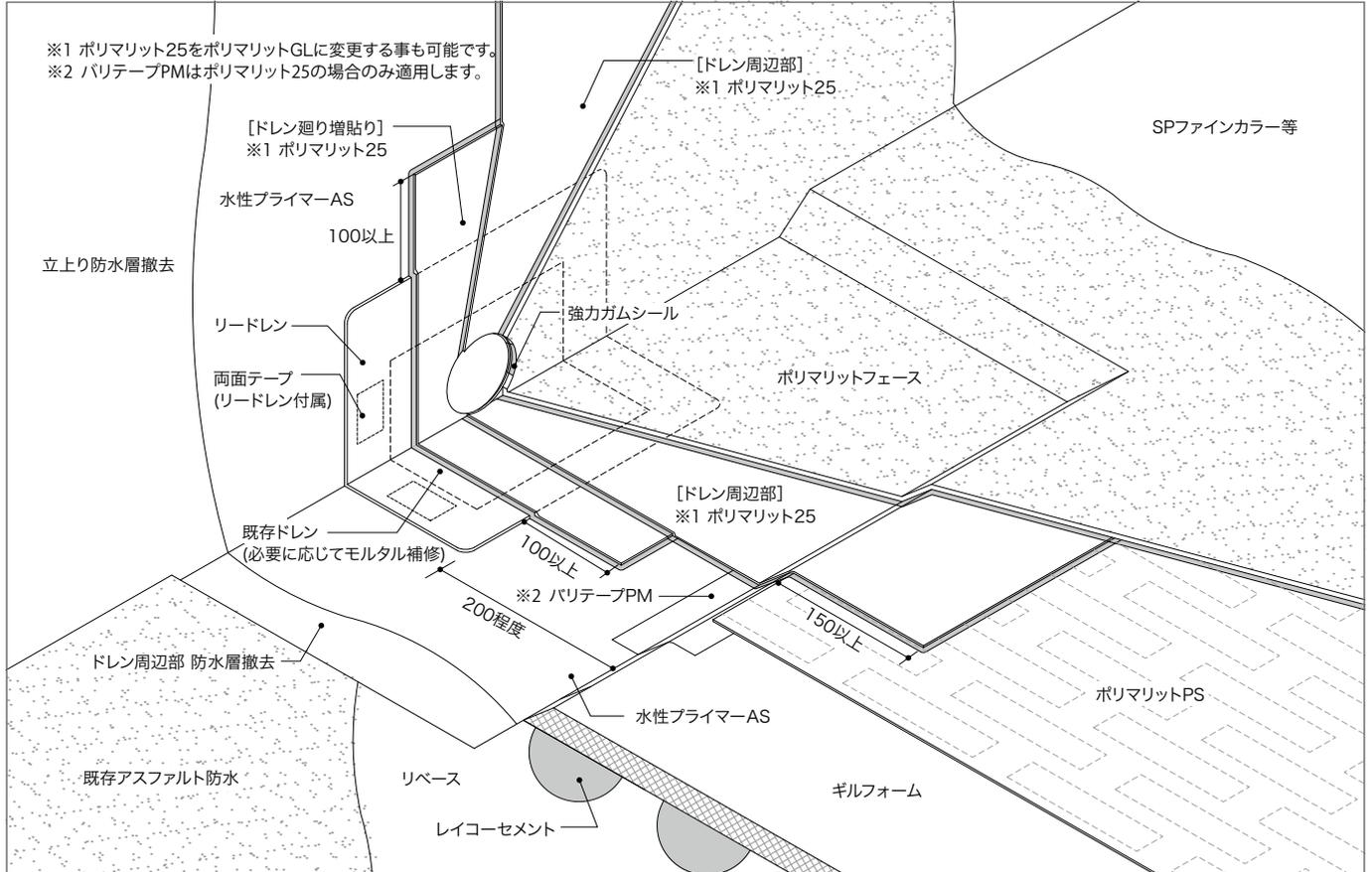
改修用ドレン(横) PSS-2S



改修用ドレン(縦) PSS-200S 断熱仕様

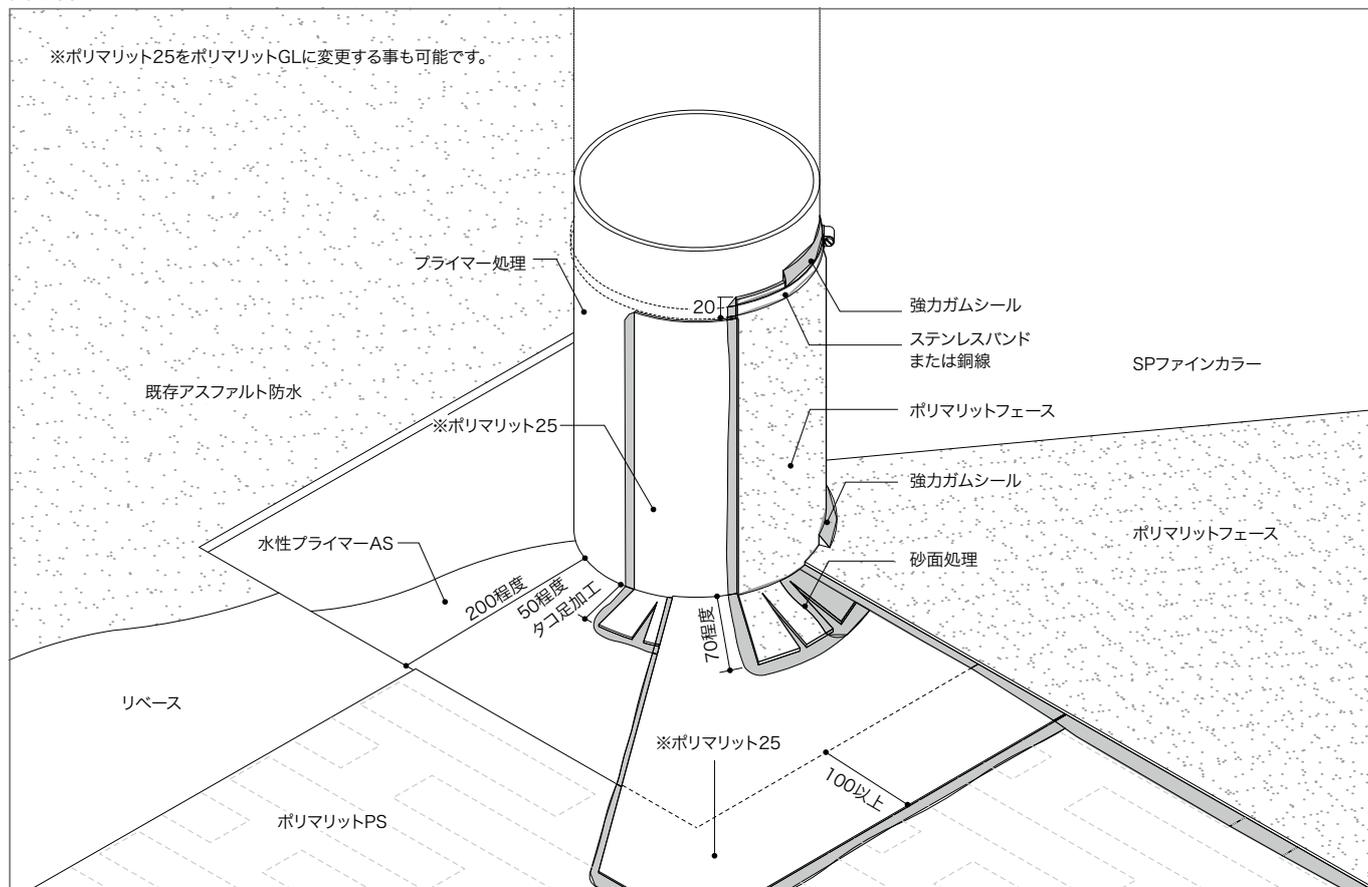


改修用ドレン(横) PSS-200S 断熱仕様

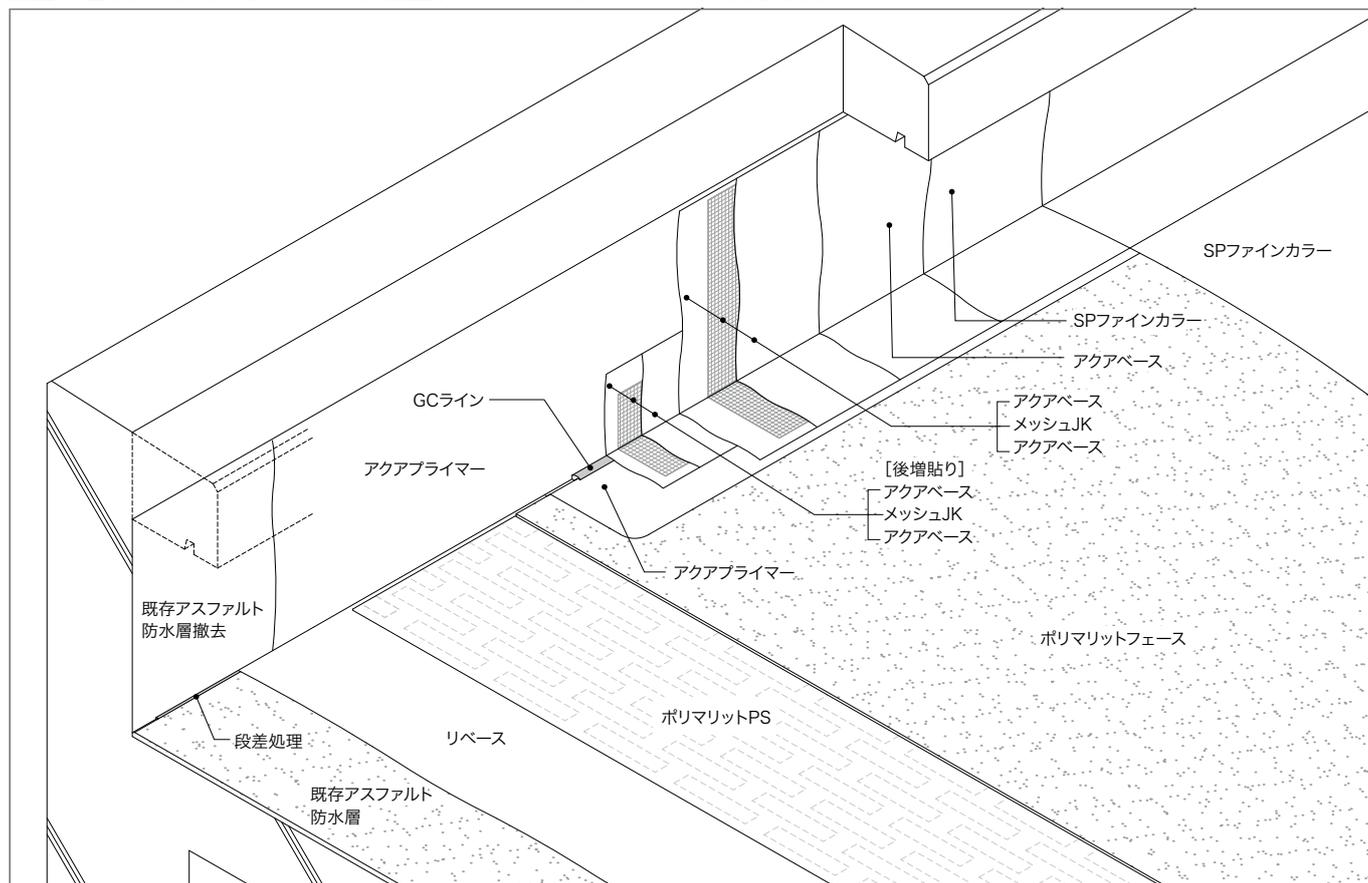


納まり図例

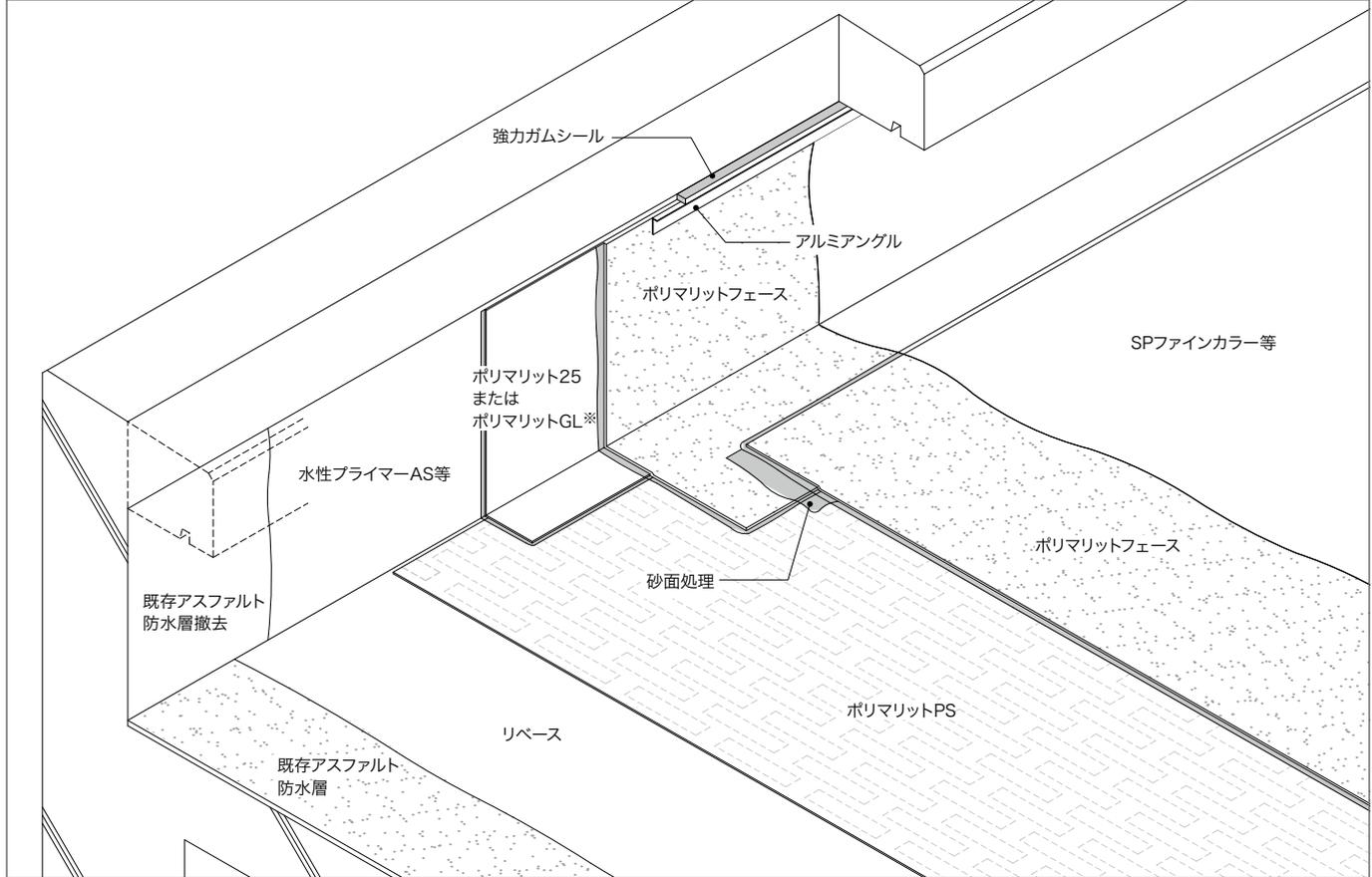
貫通管 PSS-2S



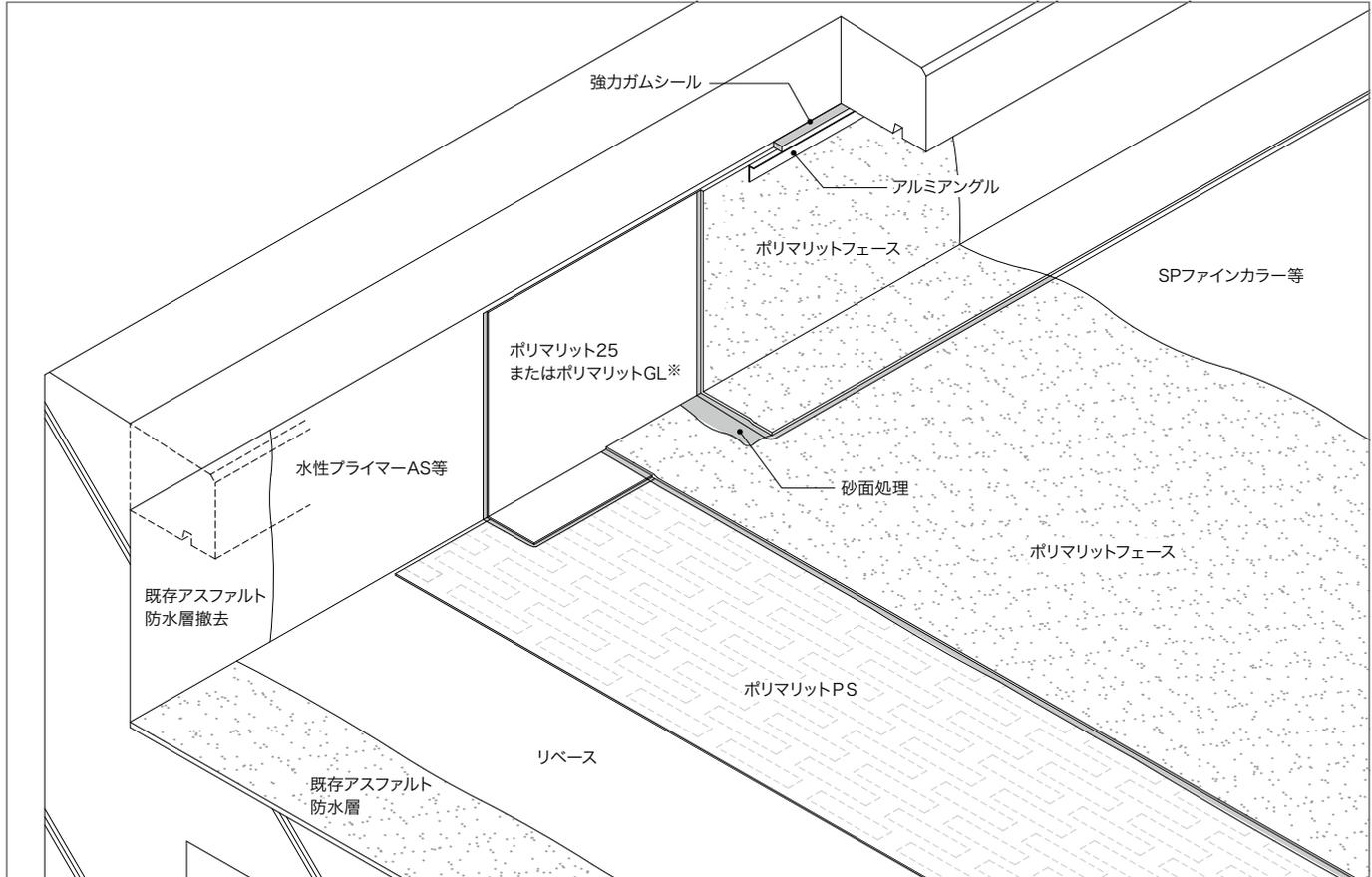
立上り 塗膜防水併用工法 PSS-2S/立上り AQ-160C(アクアベース 後増貼り)



一般部 立上りコンクリートアゴ PSS-2S(立上り部先行)



一般部 立上りコンクリートアゴ PSS-2S(平面部先行)



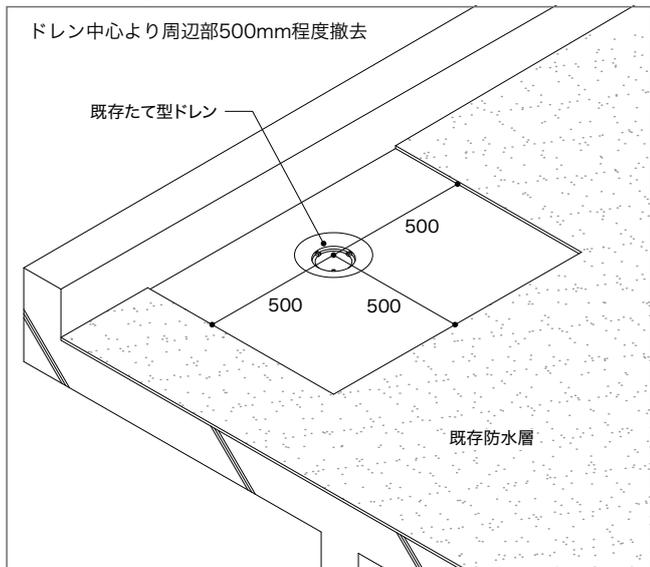
※ポリマリットGLをポリマリットPS上に施工する際は、表面処理(あぶ)が必要です。

□水抜きシート工程(ポリマリットPS)

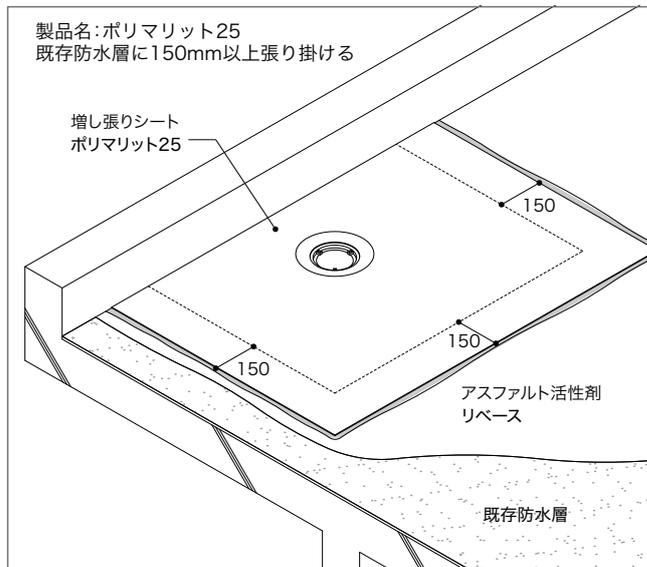
UR都市機構 標準納まり図

施工情報
納まり図例

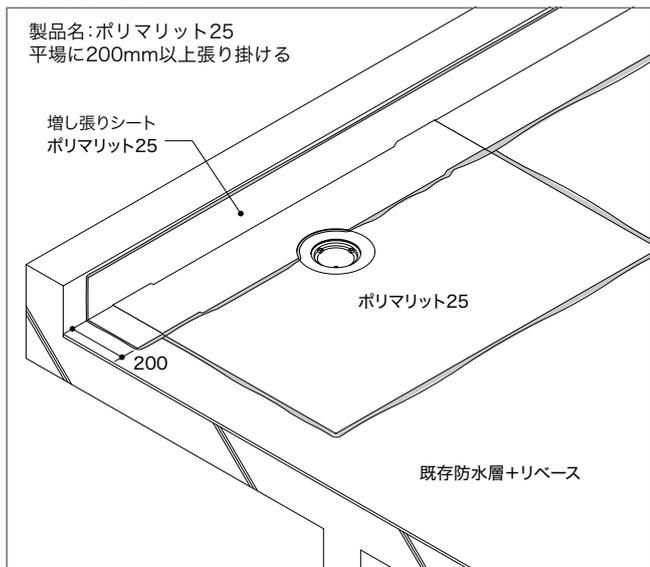
1.既存防水層撤去



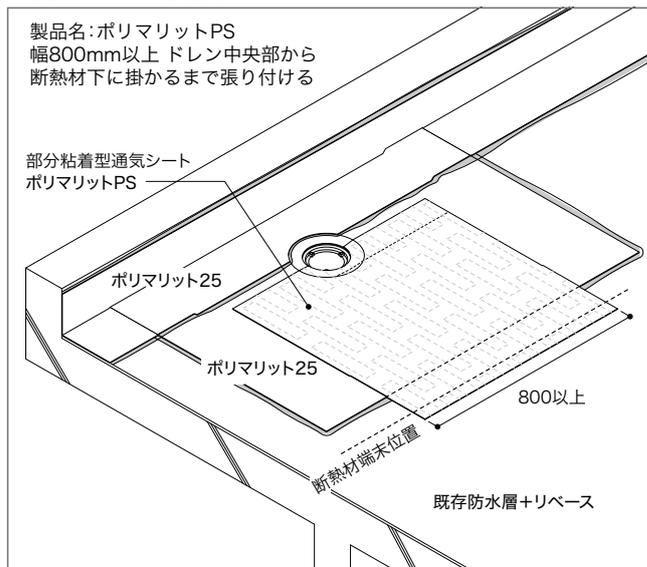
2.ドレン廻り増張り



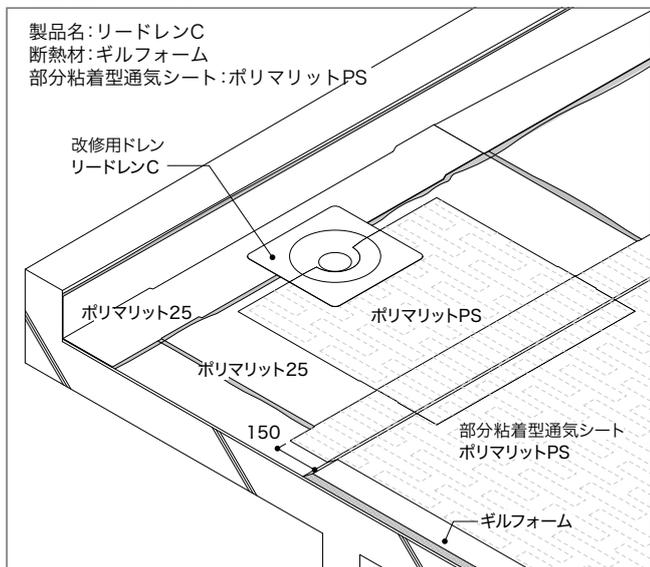
3.入隅部増張り



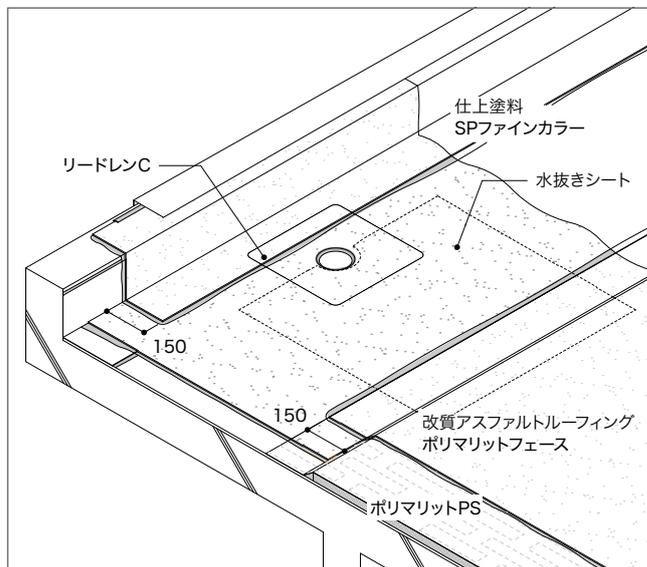
4.水抜きシート張付け



5.改修用ドレン設置(断熱材、部分粘着型通気シート張付け)

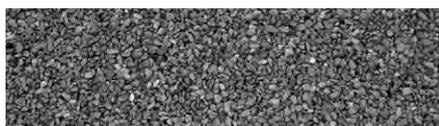


6.改質アスファルトルーフィング張付け(露出単層防水用)



材料紹介 シート類／乾式アスファルトパネル

ポリマリットフェース



表面拡大写真

表面が碎石砂付タイプの仕上げ用改質アスファルトシート。
JIS A 6013露出単層防水用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:4.0mm

ポリマリット40



表面拡大写真

表面が細砂タイプの改質アスファルトシート。
JIS A 6013露出単層防水用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:4.0mm

ポリマリット35

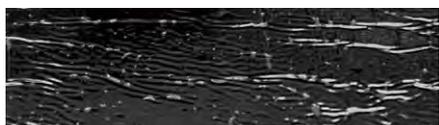


表面拡大写真

表面が細砂タイプの改質アスファルトシート。
JIS A 6013露出複層防水用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:3.5mm

ポリマリット25

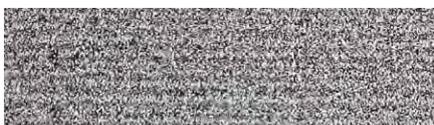


表面拡大写真

2層工法に用いる下貼りおよび立上り部用の改質アスファルトシート。
JIS A 6013非露出複層防水用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:2.5mm

ポリマリットPS

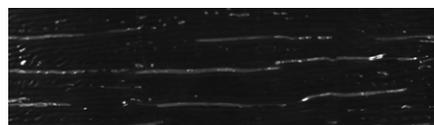


表面拡大写真

裏面がストライプ状粘着型通気層になっている下貼り用の改質アスファルトシート。
JIS A 6013非露出複層防水用R種Ⅱ類

1m×16m巻
厚さ:1.5mm(粘着層含まず)

ポリマリットGL



表面拡大写真

裏面全面にゴムアス粘着層を設けた下貼り用改質アスファルトシート。
JIS A 6013非露出複層防水用R種Ⅱ類

1m×8m巻
厚さ:2.0mm

PMスポット32



表面拡大写真

部分粘着工法用の下貼り材に用いる、あなあきシート。

1m×32m巻
厚さ:0.8mm

ダンパーシート



断熱工法に使用する両面粘着型の防湿層兼断熱材固定用シート。

1m×32m巻
厚さ:0.8mm(粘着層を含む)

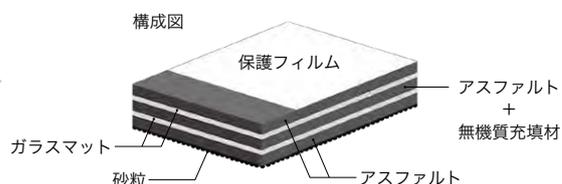
絶縁クロス1000



ポリプロピレンのフラットヤーンクロスを使用した絶縁材。

1m×100m巻
70g/m²

バリボードPS



アスファルトに無機質充填材を配合し板状に成型したパネル材。
裏面は砂粒層で下地水分を拡散。
容易に施工でき、耐衝撃性・耐圧縮性に優れる。

1m×0.9m/枚
厚さ:4mm
*砂付面を下にして使用。保護フィルムは施工後に撤去。

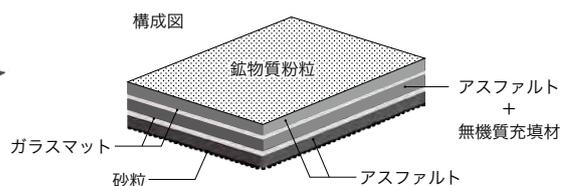
バリテープC



バリボードPS用ジョイントテープ。

100mm×20m巻
厚さ:0.7mm

バリボードS



アスファルトに無機質充填材を配合し板状に成型したパネル材。
表面は鉱物質粉粒仕上げ。

1m×0.9m/枚
厚さ:4mm
*砂付面を下にして使用。

バリテープPM



増貼りテープ。
(バリボード目地部、断熱仕様入隅部)

100mm×8m巻
厚さ:2mm

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

下地処理材 / 下地調整材 / 接着剤 / 断熱材

水性プライマーAS



コンクリートやモルタル下地に使用する、アスファルトと合成樹脂を配合した水性タイプのプライマー。

17kg/缶

アスファルトプライマー



コンクリートやモルタル下地に使用する、揮発性溶剤を用いた下地処理材。

15.5kg/缶
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しませんのでご注意ください。

アスファルトプライマーSS



コンクリートやモルタル下地に使用する、溶剤系の速乾性下地処理材。

16kg/缶

リグレー・ネオ / リグレー・ネオ パウダー



下地補修用SBR系ポリマーセメントモルタル。リグレー・ネオ (SBR系混和液) とパウダーを混練して使用。※水を添加しないでください。

リグレー・ネオ 18kg/缶
リグレー・ネオ パウダー 厚塗り用:20kg/袋
薄塗り用:20kg/袋

リグレーエポ



荒れたコンクリート等の下地はもちろん、タイル、金属材などに被膜を形成。各種下地材への接着性に優れた水性エポキシ系の下地調整材。

28kg/セット
(主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)
*シルバー塗料の上には使用できません。

クールベース / クールベースパウダー



水性ゴムアスファルト系下地調整材。既存アスファルト防水層撤去後の穴埋め、不陸調整他に使用。

クールベース 8kg/缶
クールベースパウダー 16kg/袋

リベース / リベースSL



既存アスファルト防水層を活性化する下地処理材。リベースSLは勾配用。

20kg/缶

アスグランド / グランドパウダー



既存防水層撤去後、新規防水層施工までの一時水に用いる、速硬化タイプの仮防水材。

アスグランド 9kg/缶
グランドパウダー 12kg/袋

レイコーセメント



合成ゴムを含有した改質アスファルトをベースタイプに仕上げた、断熱材ギルフォームおよびバリボードPS貼付け用の接着剤。

18kg/缶

RBセメント



RBボード、スタイロフォームRB-GK-II 接着用のアスファルト系接着剤。

20kg/缶

強力ガムシール



防水層の貼仕舞、ドレン、パイプ廻りなどに使用するゴムアスファルト系シール材。

330ccカートリッジ 20本/箱
20kg/缶、9kg/缶

GCライン (カート / ジャンボ)



防水層の貼仕舞、砂面処理、ドレン、パイプ廻りなどに使用する変成シリコン系シール材。

330ccカート、850ccジャンボカート 各10本/箱
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しませんのでご注意ください。

ハイテープM-50



片面粘着の改質アスファルトテープ。断熱材ジョイント部の補強に使用。

50mm×20m
24巻/箱

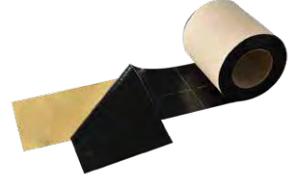
メルトテープR



バーナーで炙る溶融タイプのテープ。砂面処理やコンバウト不足の補充に使用。

150mm×25m巻

ポリマリットGL(カット200)



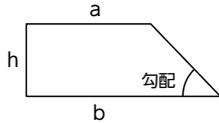
片面粘着タイプのテープ。入隅部などの増貼りに使用。

200mm×8m巻
厚さ:2.0mm

テーパーフォーム



側溝部やドレン廻りの断熱材面取り作業簡易化を目的とした、ギルフォームのプレカット部材。S、L、URの3種類あり。
※受注生産品



品名	勾配	厚さ: h (mm)	寸法 (mm)			梱包数/箱
			a	b	長さ	
テーパーフォームS	45°	25	50	75	910	24枚
		30				
		35				
		40				
		50				
テーパーフォームL	45°	25	150	175	910	22枚
		30				20枚
		35				16枚
		40				14枚
		50				12枚
テーパーフォームUR	40°	50	50	110	910	24枚
		60				20枚

ギルフォームS/W



外断熱用の硬質ウレタンフォーム。完全ノンフロントタイプで、SとWの2サイズがある。
(熱伝導率:0.023W/m・K)

S: 605mm×910mm
W: 1,200mm×900mm(受注生産品)
厚さ: 25、30、35、40、50、60、70、75mm
(Sの70、75mmは受注生産品)

RBボード



保護コンクリート仕上げに最適な、完全ノンフロントタイプ押出法ポリスチレンフォーム断熱材。
(熱伝導率:0.028W/m・K)

910mm×910mm
厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm

スタイロフォームRB-GK-II



保護コンクリート仕上げに最適な、完全ノンフロントタイプ押出法ポリスチレンフォーム断熱材。
(熱伝導率:0.028W/m・K)

910mm×910mm
厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm

各種断熱材 厚さ別梱包数

厚さ (mm)	梱包数 (枚/梱包)		
	RBボード スタイロフォームRB-GK-II	ギルフォーム	
		S	W
25	20	16	10
30	15	14	8
35	15	12	7
40	10	10	6
50	10	8	5
60	8	7	4
70	—	6	3
75	6	5	3

RBキャント1500



立上り防水層を、保護コンクリートの挙動から保護する発泡ポリエチレン製緩衝材。裏が粘着面で、立上り際の下地になじむよう切込み入り。

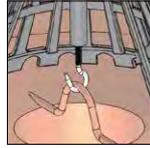
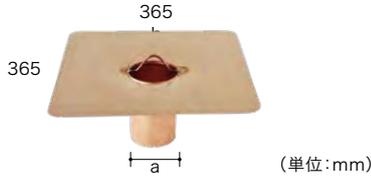
20mm×150mm×1,500mm
34本/箱

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

改修用ドレン/ドレンキャップ

■各表の許容最大屋根面積は、SHASE-S206(給排水衛生設備基準・同解説)に基づき計算。最大降雨量100mm/h当たりの許容最大屋根面積として算出。

リードレンZ たて



リードレンキャップZたての軸心部と連結

連結式の改修工用たて型銅製ドレン。丸棒部でドレンキャップと連結する。既存ドレン上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

13サイズあり(標準品は5サイズ)
※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください

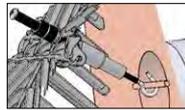
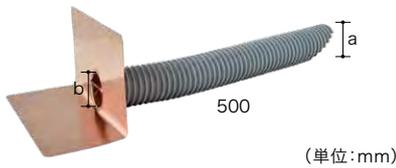
リードレンZたて 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	35*	45*	50*	60	65	75	80	95	120*	130*	140*	150*	160*
外径(a)	35	45	50	58	64	74	80	95	119	129	139	149	159
内径(b)	33	43	48	56	62	72	78	92	117	127	137	147	157
許容最大屋根面積 (m ²)	22	44	60	90	118	176	218	339	645	804	984	1190	1410

*印は特注品です。(納期:約3週間)

材料紹介

リードレンZ 横



リードレンキャップZ横の軸心部と連結

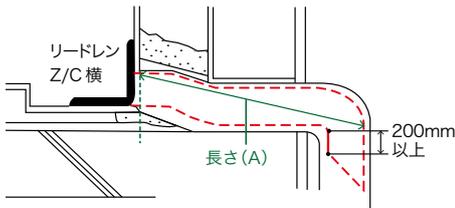
連結式の改修工用横型銅製ドレン。丸棒部でドレンキャップと連結し、既存ドレン上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

7サイズあり(標準品は3サイズ)
※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください。

リードレンZ横 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	40*	50*	60	75	90	115*	140*
ホース 外径(a)	40	46	60	73	86	112	137
筒 内径(b)	30	36	49	60	73	99	124
配管勾配ごとの許容最大屋根面積 (m ²)	1/25	17	28	65	111	187	—
	1/50	—	—	46	78	132	298
	1/75	—	—	—	64	108	243
	1/100	—	—	—	—	93	211

*印は特注品です。その他に35・100タイプを作成できます。(納期:約3週間)



【リードレンZ/C横 施工上の注意】

「リードレンZ/C横」は、ドレン設置位置から排水管のエルボ外端までが**400mmを超える場合、受注生産となります。**(納期約3週間)

現場にて左図の「長さ(A)+200mm以上」をご確認の上、発注時にホースの“有効長さ”をご指定ください。(500mm以上100mm単位)

◀リードレンZ/C横のフレキシブルホースは、エルボより下に落とし込んでください。落とし込んでいない場合、水が逆流する可能性が高まります。(左図参照)

【リードレン規格表の共通注意事項】

※ドレン寸法は小数点以下を端数処理しており、実際の製品とは若干の誤差があります。

※既存ドレンの内径を採寸し、リードレンの筒外径が既存ドレン内径より小さいサイズを選定してください。

※リードレンZ(たて/横)は、既存ドレンに差し込む二重ドレンのため、設置後の排水容量が既存ドレンとは異なります。各表を参考に、改修後の排水能力についてご確認ください。

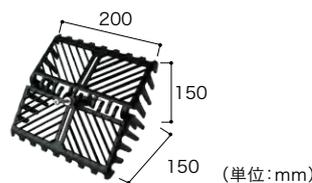
リードレンキャップZ たて



リードレンZ専用の連結式縦引用キャップ。軸芯部のJフックをリードレンZの丸棒部に掛け、Wナット締めで連結固定する。アルミダイキャスト製。

1個入/箱

リードレンキャップZ 横



リードレンZ専用の連結式横引用キャップ。中央のJフックで連結固定する。納まりに合わせてキャップの角度調節が可能。アルミダイキャスト製。

1個入/箱

ドレンゲージ DX



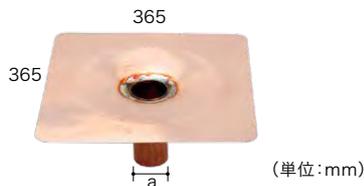
既存ドレンに差し込むだけでリードレンZ/C たておよび横の適正サイズがわかる。既存ドレン内径測定器。

1個入/箱
収納時 長さ210mm
リールキーホルダー付属

※リードレンキャップZ たて/横は、リードレンZ たて/横との組合せ以外では使用できません。(リードレンC たて/横には使用不可)

■各表の許容最大屋根面積は、SHASE-S206(給排水衛生設備基準・同解説)に基づき計算。最大降雨量100mm/h当たりの許容最大屋根面積として算出。

リードレンCたて



改修工用たて型銅製ドレン。既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

13サイズあり(標準品は5サイズ)

※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください

リードレンCたて 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	35※	45※	50※	60	65	75	80	95	120※	130※	140※	150※	160※
外径(a)	35	45	50	58	64	74	80	95	119	129	139	149	159
内径(b)	33	43	48	56	62	72	78	92	117	127	137	147	157
許容最大屋根面積(m ²)	22	44	60	90	118	176	218	339	645	804	984	1190	1410

※印は受注生産品です。(納期:約2週間)

リードレンC横



改修工用横型銅製ドレン。既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

7サイズあり(標準品は3サイズ)

※詳細については「改修用ドレンカタログ」をご参照ください。

リードレンC横 規格と排水能力 (単位:mm)

呼称	40※	50※	60	75	90	115※	140※
ホース 外径(a)	40	46	60	73	86	112	137
筒 内径(b)	30	36	49	60	73	99	124
配管勾配ごとの許容最大屋根面積(m ²)	1/25	17	28	65	111	187	—
	1/50	—	—	46	78	132	298
	1/75	—	—	—	64	108	243
	1/100	—	—	—	—	93	211
	1/125	—	—	—	—	—	188
	1/150	—	—	—	—	—	172
1/200	—	—	—	—	—	—	271

※印は受注生産品です。(納期:約2週間)

※その他に35・100タイプを作成できます。(特注品 納期:約3週間)

トルネードドレンたて80/90



改修用排水量改善たて型二重ドレン。排水口の羽根形状で排水量を増加する画期的な構造。新築時の直径100mm縦引きドレンと同等の排水力。

各1個/箱

(キャップ、専用ナット、専用シリコンゴム付)

ドレンキャップ190

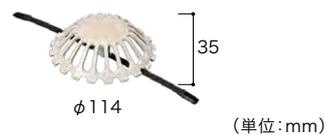


アルミダイキャスト製縦引き用ドレンキャップ。ステンレス製板パネ(滑り止めゴム被覆処理)をドレン内部に差し込んで設置。

色:黒

1個/箱

ドレンキャップたてAS

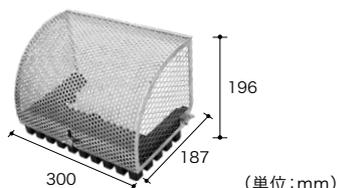


アルミダイキャスト製縦引き用ドレンキャップ。ステンレス製板パネ(滑り止めゴム被覆処理)をドレン内部に差し込んで設置。

色:黒、ライトグレー

5個/箱

ドレンキャップ横引用DX

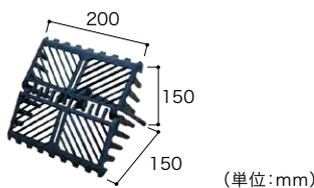


ベース部は鋳鉄製、上部はステンレス製のドレンキャップ。約5kgの自重がある据置型で、耐風性に優れる。

重量:5kg

1個/箱

ドレンキャップ横引用C200

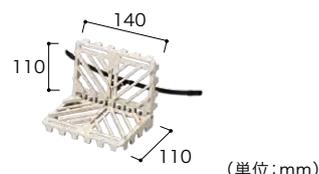


角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレンキャップ。固定用ステンレス製板パネ(滑り止めゴム被覆処理)付。

色:黒

1個/箱

ドレンキャップ横引用AS



角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレンキャップ。固定用ステンレス製板パネ(滑り止めゴム被覆処理)付。

色:ライトグレー

1個/箱

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

保護塗料

SPスーパーサーモコート SPサーモコート



アクリル樹脂を主成分とするエマルジョンと骨材で構成された、高耐久・高反射厚膜水性保護塗料。

18kg/缶
(SPスーパーサーモ 1色、SPサーモ 3色)

SPファインカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防水材専用高反射水性保護塗料。

18kg/缶 4色

SPミッドカラー



明度を下げることで照り返しによる眩しさを抑えつつ、優れた遮熱効果を発揮するアスファルト系防水材専用高反射水性保護塗料。

18kg/缶 4色

SPクリーンカラー



土、砂、花粉、珪藻類等の自然環境に起因した推積物の影響から防水層表面を保護する効果を持つ、骨材入り高反射水性保護塗料。

18kg/缶 3色

SPマルチカラー31kgセット



アスファルト系防水材用水性保護塗料。日塗工見本色指定による特殊色に対応。
※高反射タイプではありません。

31kgセット 3色(下塗り用は共通1色)
(下塗り用: 18kg/缶、上塗り用: 13kg/缶)
※特注色の納期はお問合わせください。

SPコートoneコートグレー



アスファルト系防水用溶剤系高反射保護塗料。

18kg/缶 1色
※2000m²以上の場合、納期がかかる場合があります。

保護塗料塗布による加算耐用年数について

高日射反射型の保護塗料を塗布することで、防水層の耐用年数を延ばすことができます。各仕様の基本耐用年数に下表の年数を加算してください。

保護塗料塗布量 (/m²) および加算耐用年数

保護塗料	SPサーモコート	SPファインカラー	SPミッドカラー	SPクリーンカラー
塗布量	0.8~1.2kg (2回塗り合計)	0.4~0.6kg	0.5~0.7kg	0.5~0.6kg ※堆積物が予測される部位 0.7~0.8kg(2回塗り合計)
断熱 (既存/新規)	プラス5年	プラス3年	プラス3年	プラス3年
非断熱 (既存/新規)	プラス2年	プラス1年	プラス1年	プラス1年

※耐用年数の加算は、定期的に塗料の塗替えを行い、塗料の性能を維持することを前提とします。

※保護塗料(SPサーモコート、SPファインカラー、SPミッドカラー、SPクリーンカラー)の価格は塗料ごとに異なります。



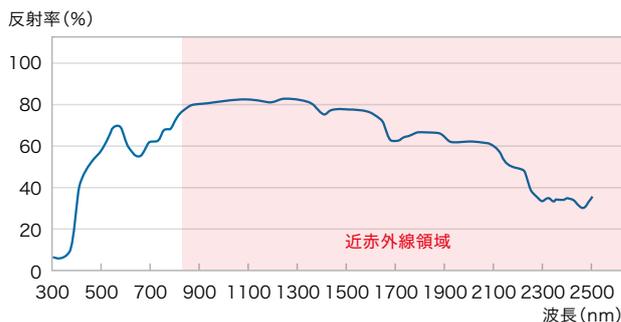
高反射塗料「SPシリーズ」の日射反射率

日射反射率(分光反射率)グラフ

(財)日本塗料検査協会試験による

品名	日射反射率(%)		
	全波長領域 300~2500nm	可視光領域 300~780nm	近赤外領域 780~2500nm
SPサーモコート サーモグリーン (TH-29)	64.5	56.0	75.9

※近赤外領域は可視光領域に比べ熱に変換されやすく、この領域をより多く反射する方が遮熱効果が高いことになります。



品名	色	名称【色番号】	日射反射率(%)	
			近赤外領域 (780~2500nm)	全波長領域 (300~2500nm)
SPサーモコート SPスーパーサーモコート		サーモホワイト【TH-1000】 (SPスーパーサーモコート)	80.0	81.0
		サーモグレー【TH-109】	77.5	61.8
		サーモアイボリー【TH-69】	76.9	69.8
		サーモグリーン【TH-29】	75.9	64.5
SPクリーンカラー		CLグレー【CL-109】	78.0	63.8
		CLマットシルバー【CL-122】	75.8	56.4
		CLアイボリー【CL-69】	77.9	70.9
SPファインカラー		ライトグレー【A-101】	74.6	60.3
		マットシルバー【A-122】	72.0	54.6
		ライトブラウン【A-66】	74.2	60.3
		ミントグリーン【A-25】	76.6	57.6
SPミッドカラー		ミッドグレー【I-103】	60.4	45.5
		ミッドリーフ【I-27】	57.6	40.6
		ミッドベージュ【I-63】	63.1	47.6
		ミッドチェリー【I-33】	66.7	52.8

※各色は印刷のため、現物との差違がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。

※表中の日射反射率(%)は、近赤外領域(780~2500nm)における数値。*日射反射率は(財)日本塗料検査協会試験による塗料単体の反射率です。

SPマルチカラー

※下塗り用の材料色はグレー系です



マルチグレー【M-100】



マルチグリーン【M-23】



マルチレッド【M-3】

・SPサーモコート仕上げによる防火認定が必要な場合で特注色をご希望の際は、SPプロテクションコートをご採用ください。

・特注色対応については弊社営業担当までお問合せください。なお特注色は日射反射率の測定を行っておりませんので、反射塗料の扱いではありません。

・防火認定や高反射機能が必要ない場合で特注色をご希望の際は、SPマルチカラーをご使用いただけます。

・特注色対応については営業担当までお問合せください。SPマルチカラーは強度に優れた塗料被膜によって防水層を保護します。高反射機能を有していないため、断熱工法(既存含む)では採用できません。

脱気筒

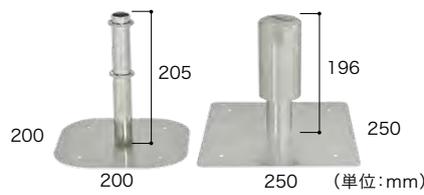
ステンレスペーパスNⅡ



防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

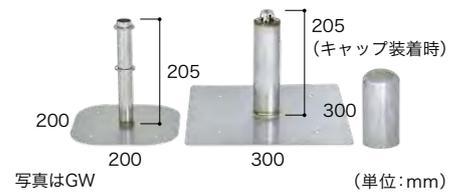
ステンレスペーパスWⅡ



断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。全体の形状を小型・軽量化したコンパクト設計。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

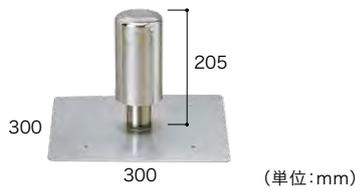
ステンレスペーパスG/GW



逆流防止弁付の平面部用通気材。
Gは非断熱用、GWは断熱工法用の二重式。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱 ※受注生産品
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

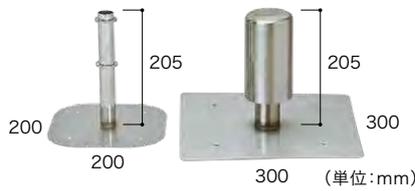
ステンレスペーパスN



防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

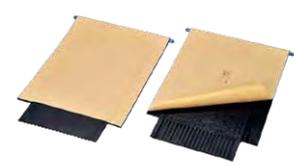
ステンレスペーパスW



断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。
70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱 端部締結用銅線同梱
*積雪寒冷地(北海道・東北・北陸エリアおよび新潟県)対応

ペーパス(立上り用)



合成ゴム製の立上り部用通気材。
10mに1カ所程度を目安に設置。

幅:240mm
高さ:350、500、700、1,000mm
各サイズ 5枚/箱

ステンスタイ362



ステンレスペーパスNⅡ・WⅡ設置に使用する防水層端部ステンレス製締結バンド

長さ:362mm
20本/袋 簡易工具同梱

ステンレスバンドF



貫通管など、パイプ廻りの防水層端部固定用バンド。パイプの寸法に合わせて切断して使用するフリーサイズ品。

フープ 5m
クリップ 10個/袋

施工用具

ポリマリットバーナーキット

ポリマリット施工時に必要な工具をキットとして収納。



- セット内容
- ・ノズル(大)・ノズル(小)
 - ・ベント(大)・ベント(小)
 - ・グリップ・ゴムホース(10m)
 - ・ロールフッカー(連結して使用)
 - ・スパナ(2個)・金コテ
 - ・収納ケース

Pバーナーレギュレーター



バーナー用LPGガスボンベとホース間に接続し、ボンベの圧力をポリマリットバーナーに適したレベルに制御するガス圧力調整用器具。

1個

平板転圧ローラー/Si



転圧施工用の樹脂製小型ローラー。平板転圧ローラーSiは、ローラー部がシリコーンチューブ製。

ローラー幅:145mm
直径:約20mm Si 約27mm
各1個

転圧ローラー230L/230M



(単位:mm)

平面部用の転圧ローラー。防水層が傷つかないようにローラー表面をゴム被覆してある。

転圧ローラー 230L(大型) 重量:10kg
転圧ローラー 230M(中型) 重量:4kg

タッチバーナー



LPガスボンベに直接接続して使用できるハンディタイプバーナー。ワンタッチ着脱式ホース付。

バーナー本体
ホース(3m)

ステッチャー



防水シートの出入隅部、3枚重ね部等の転圧用ローラー。

5本/箱

ルーフィングカッターDXⅢ



粘着層付きシートの剥離紙のみを切るための特殊カッター。

長さ:165mm 1本
*市販の替え刃(NTカッター等)を使用してください。

ガムクールスターターキット



施工時に必要な工具をツールボックスに収納。

ルーフィングカッターDXⅢ、平板転圧ローラー、ステッチャー、コテ、ボンベ式バーナー、ガムクール施工マニュアルDVD 各1点/セット

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

塗膜防水材／雨仕舞材

アスクールC



アスファルト系材料との接着性に優れる、立上り・架台用の反応硬化型改質アスファルト系塗膜防水材。

20kg/セット (A剤:5kg、B剤:15kg)

SPベース



アスクールC上に塗布するアクリル系骨材入水性保護塗料。
市販の砂骨ローラーにて塗布する。

8kg/缶

マットFC II



表面のメッシュを埋める要領でアスクールCを塗布する立上り用補強布。
裏面は不織布仕上げ。

1,050mm×50m巻
(カット品:200mm×50m)

アクアベース



アスファルト系材料との併用が可能な2液形アクリルゴム系塗膜防水材。溶剤不使用の水性材料で、有機則・特化則非該当。

20kg/セット (主材:19kg、添加剤:1kg)

アクアプライマー



アクアベース専用の2液形水性エポキシ系プライマー。

16kg/セット (A剤:8kg、B剤:8kg)

メッシュJK



ポリエステル繊維を用いたアクアベース補強用メッシュ。

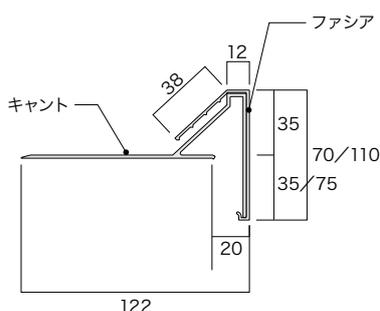
950mm×50m巻

フラッシュエッジ70A/110A



防水層挟み込み式のアルミ製端部水切材。

色:70A シルバー、T-11*、T-3、T-4*
110A シルバー、T-11*、T-3、T-4*
*受注生産色



フラッシュエッジ70A (単位:mm)

	カント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ:2,000 厚さ:1.7	長さ:1,995 厚さ:1.7	長さ:80 厚さ:0.6
ビス穴	7穴 300間隔	—	—

フラッシュエッジ110A (単位:mm)

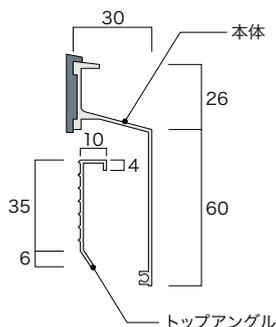
	カント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ:2,000 厚さ:1.8	長さ:1,995 厚さ:1.8	長さ:80 厚さ:0.6
ビス穴	7穴 300間隔	—	—

フラッシュトップ60



防水層立上り端末用のアルミ製水切材。

色:シルバー、T-11*、T-3、T-4*
*受注生産色



(単位:mm)

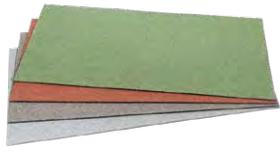
	カント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ:1,995 厚さ:1.3	長さ:2,000 厚さ:1.2	長さ:80 厚さ:0.6
ビス穴	5穴 450間隔	—	—

シルバー		T-11* ステンカラー	
T-3 茶		T-4* 黒	

※各色は印刷のため、現物との差異があります。

板状仕上げ材／副資材

バリキャップP/バリキャップ



表面を彩色砂や自然色砂で仕上げたアスファルト成型板。

500mm×1,000mm 厚さ:6mm 5.1kg/枚
 ※バリキャップP裏面:保護フィルム(施工時にフィルムを剥離してから貼付。粘着層はありません)
 ※バリキャップ裏面:鉱物質粉粒
 色:4色(19ページ参照)

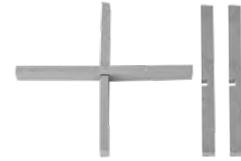
ガムロンタイル



歩行用磁器タイル保護仕上げパネル。
 裏面は粘着層付。

300mm×300mm(目地部含む)
 厚さ:8mm(1.2kg/枚) 18枚/箱
 ※端部保護のため、見切り材ステップエッジ(50mm×1,000mm)をご使用ください。
 ※受注生産品 色:4色

ガムロンタイル用目地ピース



歩行頻度が激しいところに使用する目地材。

3mm×60mm
 厚さ:5mm
 10本/1包(製品に付属)

ステップスクエア500H



天然の砂粒を成型した粘着層付き防水層保護板。

500×500mm 厚さ:7.5mm(12kg/m²) 6枚/箱
 ※美観維持のため、ステップバインダーHをアジャストUで希釈したものを約5年毎に塗布するメンテナンスをおすすめします。詳細は施工マニュアルをご覧ください。 色:4色

ステップエッジ



ステップスクエア500H、ガムロンタイルの端部保護を兼ねた、ステンレス製見切り材。VTテープ50を用いて固定する。側面に水抜用の穴(6カ所)あり。

50mm×1,000mm
 10本/箱

VTテープ50



ステップエッジ固定に使用する両面テープ。

50mm×15m巻
 3巻/箱

RBタイル



ポリスチレン系断熱材とモルタルを同時成型した複合タイル。

450mm×450mm
 総厚:65mm(断熱材厚さ:50mm)
 8kg/枚 ※受注生産品

ウィンドバー(低層用) ウィンドブロック(中層用)



RBタイル用縁見切り材。

ウィンドバー 60mm×30mm×2,730mm
 ウィンドブロック 63mm×170mm×600mm

サンドイッチ金具



RBタイル相互連結用金具。

金具(上座・下座)+ビス各1個/セット

エイブロックBF/BJ



BJは連結可能

合成樹脂ネットで補強したセメント系成型パネル。パネル目地部分で折り曲げ、下地の不陸等になじませて設置ができる。

600mm×600mm
 厚さ:25mm 20kg/枚 ※受注生産品

エイマット



エイブロック敷設用のクッション材。

1,000mm×1,000mm
 厚さ:7mm 35枚/袋

縁石ブロック 連結用プラグビス(BJ用)



エイブロック用縁見切材とBJ連結用ビス。

縁石ブロック 120×600mm 厚さ:60mm
 連結用プラグビス プラグ+ビス50セット/袋
 色:グレー

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料一覧

種類	品名	規格	備考
シート類	ポリマリットフェース	1m×8m巻 厚さ:4.0mm	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層防水用R種 II類
	ポリマリット40	1m×8m巻 厚さ:4.0mm	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層防水用R種 II類
	ポリマリット35	1m×8m巻 厚さ:3.5mm	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出複層防水用R種 II類
	ポリマリット25	1m×8m巻 厚さ:2.5mm	下貼り用改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層防水用R種 II類
	PMスポット32	1m×32m巻 厚さ:0.8mm	下貼り用あなあきシート
	ポリマリットGL	1m×8m巻 厚さ:2.0mm	下貼り用改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層防水用R種 II類
	ポリマリットPS	1m×16m巻 厚さ:1.5mm (粘着層含まず)	部分粘着型改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層防水用R種 II類
	ダンパーシート	1m×32m巻 厚さ:0.8mm (粘着層含む)	防湿用部分粘着型シート
	絶縁クロス1000	1m×100m巻	ポリプロピレン製フラットヤーンクロス
テープ類	メルトテープR	150mm×25m巻	エンドラップシール用熱融融テープ
	バリテープPM	100mm×8m巻 厚さ:2.0mm	増貼りテープ(バリボード目地部、断熱仕様入隅部)
	バリテープC	100mm×20m巻 厚さ:0.7mm	バリボードPS用ジョイントテープ
	ポリマリットGL(カット200)	200mm×8m巻 厚さ:2.0mm	片面粘着の改質アスファルトテープ
	ハイテープM-50	50mm×20m 24巻/箱	片面粘着の改質アスファルトテープ
下地処理材・下地調整材・接着剤	水性プライマーAS	17kg/缶	アスファルト系水性プライマー
	アスファルトプライマー	15.5kg/缶	溶剤型アスファルト系プライマー
	アスファルトプライマーSS	16kg/缶	速乾性溶剤型アスファルト系プライマー
	リグレー・ネオ	18kg/缶	下地調整用ポリマーセメントモルタル SBR系混和液
	リグレー・ネオ パウダー 厚塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 粗粉体
	リグレー・ネオ パウダー 薄塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 細粉体
	リグレーエポ	28kg/セット (主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)	下地調整用速硬型水性エポキシ系樹脂モルタル
	クールベース/クールベースパウダー	クールベース:8kg/缶 パウダー:16kg/袋	水性ゴムアスファルト系下地調整材
	リベース/リベースSL	20kg/缶	アスファルト系下地活性材 リベースSLは勾配用
	アスグランド/グランドパウダー	アスグランド:9kg/缶 パウダー:12kg/袋	水性ゴムアスファルト系防水材
	レイコーセメント	18kg/缶	アスファルト成型板・断熱材用接着剤
	RBセメント	20kg/缶	ポリスチレンフォーム断熱材用アスファルト系接着剤
	強力ガムシール	330ccカートリッジ 20本/箱 20kg/缶、9kg/缶	ゴムアスファルト系シーリング材
	GCライン	330ccカート 850ccジャンボカート 各10本/箱	変成シリコン系シーリング材
	バリボードPS	1m×0.9m 厚さ:4.0mm	絶縁用複合防水下貼りアスファルト成型板
バリボードS	1m×0.9m 厚さ:4.0mm	絶縁用複合防水下貼りアスファルト成型板	
雨仕舞材	フラッシュエッジ70A	長さ:2,000mm	防水層端部アルミ雨仕舞材
	フラッシュトップ60	長さ:2,000mm	立上り部アルミ雨仕舞材

種類	品名	規格	備考
断熱材	ギルフォームW	1,200×900mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	耐熱型硬質ウレタン系フォーム 受注生産品
	ギルフォームS	605mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	耐熱型硬質ウレタン系フォーム 70、75mmは受注生産品
	RBボード	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	スタイロフォームRB-GK-II	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、75mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
ドレン・脱気筒	リードレンCたて/横	1個/箱	改修用銅製ドレン
	リードレンZたて/横	1個/箱	連結式改修用銅製ドレン
	リードレンキャップZたて/横	1個/箱	リードレンZ専用連結式キャップ 色:黒
	トルネードドレンたて80/90	筒外径:80、88mm 1個/箱	改修用排水量改善タテ型ドレン (キャップ、専用ナット、シリコンゴム付)
	ドレンキャップ190/たてAS	190:1個/箱 たてAS:5個/箱	190:タテ型用キャップ(大)…色:黒 たてAS:タテ型用キャップ(小)…色:黒、ライトグレー
	ドレンキャップ横引用C200/AS	1個/箱	横引用キャップ C200…色:黒 AS…色:ライトグレー
	ドレンキャップ横引用DX	1個	横引用キャップ
	ペーパス(立上り用)	高さ:350、500、700、1000mm 各5本/箱	立上り部用通気材
	ステンレスペーパスNII/N	1個/箱	平面部用通気材
	ステンレスペーパスWII/W	1個/箱	平面部用通気材(断熱工法用)
	ステンレスペーパスG	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材 受注生産品
	ステンレスペーパスGW	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材(断熱工法用) 受注生産品
	ステンレスタイ362	長さ:362mm 20本/袋 簡易工具同梱	ステンレスペーパスNII/WII設置時 防水層端部締結ステンレス製バンド
保護塗料	SPスーパーサーモコート	18kg/缶	高反射・高耐久 水性アクリル系保護塗料 色:1色
	SPサーモコート	18kg/缶	高反射・高耐久 水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPクリーンカラー	18kg/缶	高強度・高反射 水性アクリル系保護塗料 色:3色
	SPファインカラー	18kg/缶	高反射 水性アクリル系保護塗料 色:4色
	SPミッドカラー	18kg/缶	高反射・低明度 水性アクリル系保護塗料 色:4色
	SPマルチカラー 31kgセット	下塗り用:18kg/缶 上塗り用:13kg/缶	水性保護塗料 色:3色
	SPコートoneコートグレー	18kg/缶	弱溶剤系高反射保護塗料 色:1色
塗膜系防水材料	アスクールC	20kg/セット(A剤:5kg、B剤:15kg)	改質アスファルト系常温反応型塗膜防水材料
	SPベース	8kg/缶	アスクールC用水性保護塗料
	マットFCII	1,050mm×50m巻(カット品:200mm×50m)	立上り用不織布シート
	アクアベース	20kg/セット(主材:19kg、添加剤:1kg)	2液混合形アクリルゴム系塗膜防水材料
	アクアプライマー	16kg/セット(A剤:8kg、B剤:8kg)	2液形水性エポキシ系プライマー
	メッシュJK	950mm×50m巻	防水層補強用ポリエステルメッシュ
仕上げ材	バリキャップ/バリキャップP	500mm×1m 厚さ:6mm	彩色砂付アスファルト成型板仕上げ材 色:4色
	ステップスクエア500H	500mm×500mm 厚さ:7.5mm 6枚/箱	天然石細粒成型板仕上げ材 色:4色
	ガムロンタイル	300mm×300mm 厚さ:8mm 18枚/箱	粘着層付磁器タイル仕上げ材 色:4色 受注生産品
	ステップエッジ	50mm×1m 10本/箱	ステップスクエア用ステンレス製端部見切り材
	VTテープ50	50mm×15m 3巻/箱	ステップエッジ固定用両面テープ

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

使用上の注意とメンテナンス

ご使用時の注意点

〈砂付ルーフィング仕上げ〉

- 通常時における防水層上の歩行および使用は厳禁です。
- 維持補修の目的で防水層上を歩行する際には、防水層を損傷する可能性の低い履物(ゴム底の靴などの柔らかい履物)を使用してください。
- 防水層の表面が雨や雪でぬれていたり、落葉、苔、砂、埃などが堆積していると防水層上は滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 防水層上に溶剤、油、薬品類をこぼさないよう、注意してください。万が一、こぼれてしまった際には専門工事店にご相談ください。
- 防水層に傷をつけたり、防水層上で物を落としたり、引きずったりすることは避けてください。
- 雪下ろしには、金属製のスコップなどの防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- 防水層の上に、重量物や振動物を載せないでください。
やむを得ない場合には、バリキャップや防振ゴム等、防水層の養生となる物で防水層を保護してください。
- たばこの投げ捨てや防水層の上での火気使用は厳禁です。
- 防水層上に直接客土して草木の植栽を行わないでください。
- 植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。

〈保護コンクリート仕上げ〉

- 火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。

〈エイブロック〉

- エイブロック上での運動はお控えください。
- 表面が雨や雪でぬれていて滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 表面が白くなることがありますが、強度には影響ありません。
- 火気の使用、直接客土しての草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- セメント製品ですので地域や気象条件により凍害や白華現象を生じる場合があります。ご了承ください。
また、凍害や白華現象の発生抑制のため、できる限り排水を良くし、水たまりを作らないようにしてください。

〈バリキャップP/バリキャップ仕上げ〉

- バリキャップP/バリキャップ上での運動はお控えください。
- バリキャップP/バリキャップ上のフクレなどで利用上支障が生じている際には、専門業者にご相談ください。
- 火気の使用、直接客土しての草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- 断熱工法の場合は、原則として屋上利用はできません。

〈ステップスクエア500H、ガムロンタイル仕上げ〉

- ステップスクエア500H、ガムロンタイル上での運動はお控えください。
- 表面が雨や雪でぬれている場合は、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- 断熱工法の場合は、原則として屋上利用はできません。

〈露出防水仕様〉

- 露出防水仕様においては下記のような状況が見られることがありますが、防水性能に支障はありません。
 - ・下地の含有水分による防水層のフクレや、砂付ルーフィングの砂粒の隙間に入り込んだ湿気による表層のフクレ
 - ・雨水が滞留しやすい箇所に粉塵、泥、花粉、黄砂等が堆積し、乾燥収縮する事で生ずる表層クラック
 - ・砂付ルーフィングに付着している余剰砂の脱落
 - ・砂に含有される鉄分による錆

定期的なメンテナンスのお願い

〈砂付ルーフィング仕上げ〉

- 防水層の表面状況の点検…1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生の有無、設備基礎廻りの劣化状況
- 防水廻りの金物の点検…1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況
- 仕上塗料の塗り替え…塗料により塗り替え時期が異なるのでご相談ください。

〈保護コンクリート仕上げ〉

- 植物の発生状況の点検、清掃…1年に1回
伸縮目地部・ドレン廻りの植物の発生状況、伸縮目地部・ドレン廻りに堆積している土砂の除去
- 防水廻りの金物の点検…1年に1回
水切金物・笠木の設置状況
- ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回
ゴミの清掃

〈バリキャップP/バリキャップ仕上げ〉

- バリキャップP/バリキャップ表面状況の点検…1年に1回
バリキャップP/バリキャップのフクレ・砂落ちの発生状況の点検
- 立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況
- 防水廻りの金物の点検…1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

〈エイブロック、ガムロンタイル仕上げ〉

- エイブロック、ガムロンタイル表面状況の点検…1年に1回
エイブロック、ガムロンタイルの割れの発生状況の点検
- 立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

〈ステップスクエア500H仕上げ〉

- ステップバインダーH(アジャストUで希釈したもの)の塗り替え…5年に1回程度
- ステップスクエア500H表面状況の点検…1年に1回
ステップスクエア500Hの割れの発生状況の点検
- 立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回
防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況
- 防水廻りの金物の点検…1年に1回
立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況
- ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回
ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況。

*防水層の点検・補修および仕上げ塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社または専門工事に依頼してください。(有償)

※保護塗料は経年によりひび割れや減耗を生じます。これらの現象は防水性能に支障を及ぼすものではありませんが、保護塗料は定期的な塗り替えを推奨します。
※シール材は経年によりひび割れや減耗を生じます。納まりが適切であれば、これらの現象は防水性能に直ちに支障を及ぼすものではありませんが、シール材は定期的な打ち替えを推奨します。

北海道防水改修事業センター
東北防水改修工事協同組合
関東防水管理事業協同組合
東海防水改修工事協同組合
北陸防水改修事業センター
関西防水管理事業協同組合
中国防水改修事業センター
九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
https://tajima.jp

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

神戸営業所

〒650-0023 神戸市中央区栄町通6-1-17
TEL 078-330-6866

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111

2024.04 © SN 8,000

カタログ掲載上のおことわり

- ・印刷の色味は現物と異なる場合があります。
- ・各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
- ・各仕様ページの工程図は、工程を分かりやすく示すことを目的としたイメージ図です。下地や材料の形状・寸法・色は実際と異なります。